婦選

一月號

婦選獲得同盟

第四…號

來學年度入學者のために

文化學院

女學部 第一學年三十名募集
◇已に願書を受附けてゐます。
◇申込と同時に御父兄と面談の上即時決定。
◇小學卒業の女子が入學して四ヶ年で卒業します。高等女學校の課程に準じて居りますが、語學は英佛兩國語あり、文學美術音樂に力を用ひますから、藝術的傾向のある子女の入學に適します。

本　科 第一學年三十名募集、申込順入學決定
本校女學部卒業生及び一般高等女學校卒業生を入學せしめ、修業年限は三ヶ年とし昭和三年度よりは女子のみを入學せしめてゐます。英佛兩國語の學習に力を用ひ現今の日本の女子に程度の高い教養を與へ、學問、藝術によつて人格の修養と高い趣味とを得せしめんとします。たゞに教養のみならず文藝作家たらんとする女子にも適します。

美術科 第一學年三十名募集、四月初旬繪畫實技試驗の上決定。修業年限は三ヶ年とし中等學校卒業程度の男女子を入學せしめます。洋畫を主としたる美術學校ですが人間を作るために各學科と英佛語の科目があり、實技の指導者は皆二科會々員の諸先生です。

東京神田駿河臺　電話神田三二三九番

謹賀新年

—併祈婦選之達成—

東京市四谷區新宿一ノ一 武新十郎	東京市四谷區新宿一ノ一 武妙子	東京市本所區錦糸小學校 井上たみ	永榮友次郎 讀賣新聞社婦人部	佐久間晋 讀賣新聞社婦人部
東京市小石川區金富町十九 宮坂みち子	東京市深川區佐賀町一ノ三一 菊地弘一	東京市深川區佐賀町一ノ三一 菊地八重	東京市赤坂區表町一 久保山武雄	東京府下三鷹村牟禮四六五 小山堪子
東京市外杉並町高圓寺八五八 (電話中野一、二一八) 三上英雄 事務所 東京市日本橋區通二丁目五ノ十三 電話日本橋六一一〇	東京市小石川區大塚仲町二六 渡邊とめ	東京府下入新井町不入斗七二六 坂本眞琴	東京市四谷區北伊賀町四三 塩原靜 電話四谷三三七四	東京市四谷區仲町三ノ四六 市川房枝

東京市四谷區仲町三ノ四六
金子茂

群馬縣山田郡福岡村小平
八木橋きい

京都府北桑田郡山國村
水口糸

熊本市上通町三丁目五
山下恒子

東京府下品川町二日市二四四
千葉とし子

東京市麻布區龍土町七四
大橋豊喜

東京市本郷區元町一ノ三
野間方
藤原智淨

東京市赤坂區青山南町
六ノ八三
田房あい

女子エスペラント研究會
佐々城松榮
東京市麹町區四番町九

東京府下代々幡町笹塚
一〇七六
久布白落實

名古屋市立第一高等女學校
下田さと

東京府下大久保百人町
三六〇婦風會
千本木道子

東京市麹町區三番町五十一
河崎夏子

東京府下東大久保四八九
山本杉

東京市四谷區旭町五十八
藤間アサヨ

東京府下大崎町白金猿町九四
武田睦子

東京府下淀橋町角筈九三
福島四郎

東京市麹町區四番町十四
三輪田繁子

東京市麹町區五番町十六
星野あい

東京市小石川區西原町二ノ一
婦人相愛會
會長 宮本さよ子
電話大塚二二七五番

賀正

小山松壽

東京市赤坂區
青山高樹町一二ノ五

賀正

星嶋二郎

東京市本郷區
眞砂町十五

賀正

小尾菊雄

名古屋市中區
久屋町二ノ一

賀正

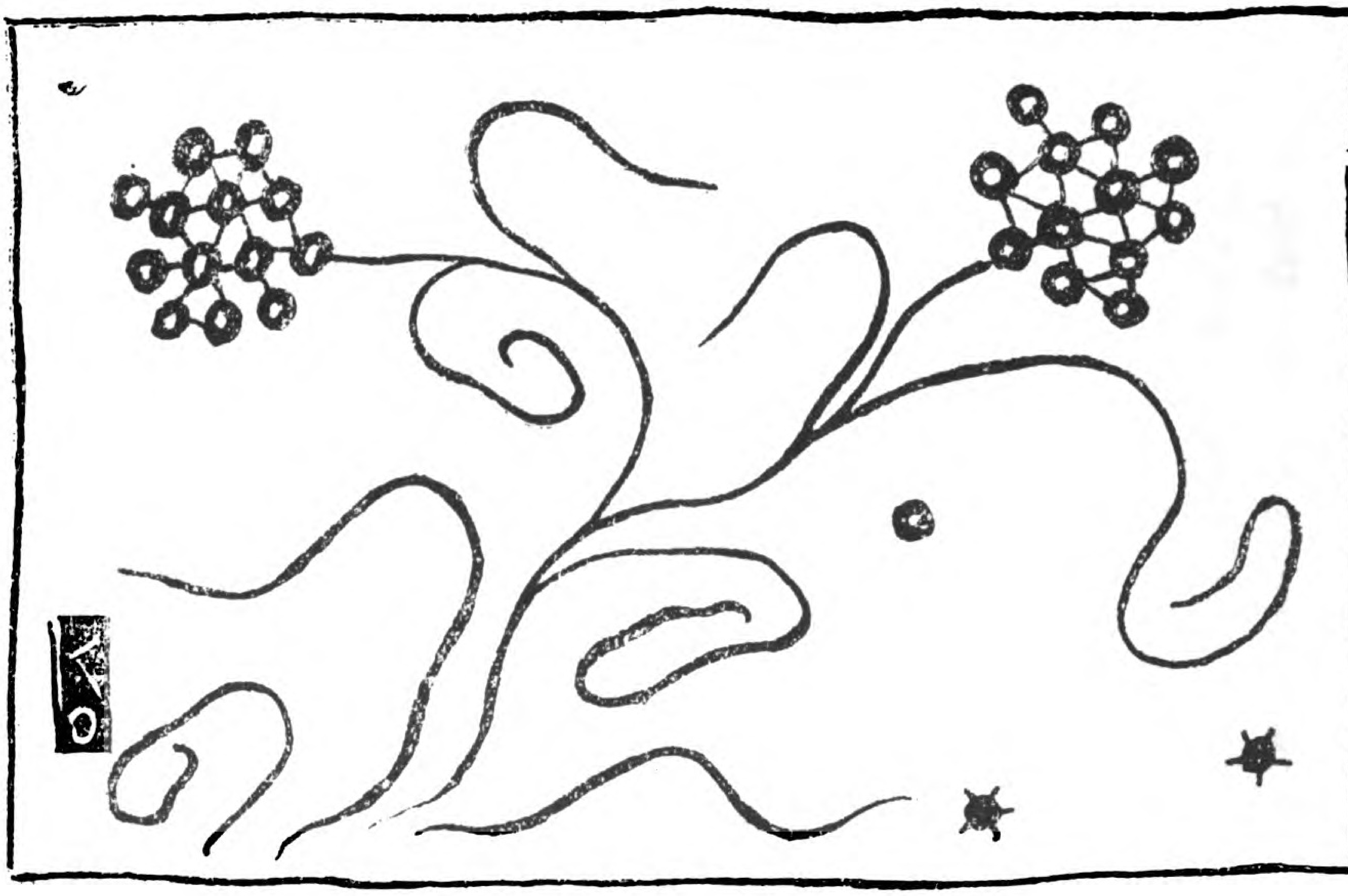
三宅磐

横濱市神奈川區
青木町上臺二〇〇

FUSEN・FUSEN

婦選　第四巻第一號　一月號目次

主張　昭和五年と婦選……（八）
第五十七議會への推斷……坂本眞琴…（一〇）
倫敦軍縮會議……藤田たき…（一五）
婦選講座　金解禁について……市川房枝…（三四）
一頁評論　婦人軍縮代表にのぞむ…新妻伊都子…（一九）
社民黨大會を見る……兒玉勝子…（四七）
婦選座談會　東京、金澤、名古屋、長野　代表十八名
地方婦人と婦選……政界淨化と婦人
政治教育の問題……大臣政黨訪問感想……（二一）
六號記事
解散―總選擧……（一四）
海外時事……（三八）
一ケ月時事……（三三）
海外だより……（五四）
長野縣會の婦選案……金子しげり…（四四）
廢娼デー雜感……羽中田愛子…（四四）
甲州の生活……平田のぶ…（四八）
西部戰線を見る……S・G・R…（六一）
婦選團……（三一）
婦人界展望……（三九）
婦人界片々……（二九）
婦選ページ……（四二）
萬女鑑……（五二）
瑞旦（卷頭）……深尾須磨子…（七）
サフラジエツト（飜譯）……シルビア、パンカースト　藤田たき抄譯…（五五）
新生への道（連作小説第三回）……高群逸枝…（六三）
表紙……木村五郎
漫畫、カツト……森讓



瑞旦

深尾須磨子

羽づくらふ
おほ鳥の
さうぞける
あて人の
けはひぞ！
けはひぞ
あらたまる
しののめに
まづ生るる
よききざし

昭和五年と婦選（主張）

婦選運動は今年如何なる道を辿るべきか、新春に際し聊か展望を企てる。

政府は議會開會に先き立ち、選擧革正調査會なる機關を設置し、その調査要目中に、將に俄然婦人參政權を挿入したのであつた。

この事に就ては、安達内相の聲明によれば舊革新系よりなせる選擧廓清の提議は、黨費の公開、選擧の公營に止まりて婦選はなかつた、而してこれを加へたのは實に内相自身であつて、その理由は單なる婦人の政治的進出に非ず、混濁せる選擧界廓清に婦人の力の直接的効果を痛感するからといふにある。これ正に内相の一大抱負といふべく、且つ從來の爲政者流より確かに一歩を進めたものとしていふべきではあるが、内相のこの飛躍については大に興味を禁じ得ないものがある。

即ち聞く所によれば、内相は自黨議員中、反對黨よりの誘惑に臨みて、賢妻の在てよくこの危きを防ぎ得たといふ實例に富むとの事である。又過日婦選獲得同盟幹部が内相訪問の砌り、内相はしきりと緊縮政策に對する婦人の協力について賞讃したといふ。これらの婦人に對する經驗が、冷靜一圖といはるゝ現内相をしてこの英斷に赴かしめたるは婦人にとつては正に微苦笑に相當する問題であらう。

然し乍ら、選擧革正調査會は調査機關にして執行の力を有するものではない。今日迄に政黨がその政務調査會に於て、婦人公民權を可決しても、まだ黨議として提出し、黨の政策に掲ぐる黨は、無産政黨の如く、その立場上婦人を認むる政黨以外にはないのである。黨派を超越して、朝野の專門家を網羅すると雖も選擧革正調査會の調査が實行に移さるゝ迄には、相當の時日を要する事は免れ難い。況してや調査そのものに時日を費さんとすれば、それは容易なる事である。

茲に於て我等は、婦人がこの調査會の項目中に婦選の加へられたる一事を以て欣快を叫び、現内閣の婦選に對する誠意を認むる事をまづ輕卒早計なりとして戒めなければならない。

暫らく目を今や開會せられたる第五十七議會に轉ぜよ今議會が解散さけ難きが爲、政府與黨も、野黨も共に、自己直接の利害圏内にあらざる婦選諸案に對しては決し

て積極的態度に出づる事なかるべしとした、本誌前號の推斷は正に適中したではないか。即ち婦選三案は開院式當日に無事提出されたとはいへ、これは決して政府案に非ず、黨議にあらず、前議會より一歩の出づるなき各派別有志提出のそれに依つたものである。尤も提出者の顔ぶれに黨幹部格の稍多數加はつたと見えるのが、進歩といはゞ謂ふべきであらうが、我等はこの程度の變化を以て、欣びは感じ難いのである。寧ろ我等は、立法技術云々の名にかくれて、理論の上の正しさに於て避くる所なきこの明白なる問題を回避する彼等の態度を、飽迄誠意なきものと斷じるに躊躇せざるものである。

勿論我等も解散回避を否定する。而して政府が速かに解散を斷行する事を、憲政上當然と信ずるが故に、本議會に於て婦選三案が正に形式的に取扱はれ、何等の進展を示すなくて、單なる記錄に止めらるゝ程度に終る、この犠牲をも敢て忍び、その正しきに就く事を厭ふものではない。たゞ、我等はせめても彼等の誠意にふれんと希ひ、公約の程度にてもよし獲得せんと努めた。而して我等は僅かに選擧革正調査會を得たに止まる。

解散、總選擧を經て、第五十八議會は臨時議會として召集される。この議會にも前年の如く、形式的の提出は可能であるが實質上の決戰を爭ふべき機會は、實に今冬第五十九議會にゆづらざるを得ないのが實狀である。

内相の意を以てすれば、政府は當然五十九議會に於て婦人公民權、若くは婦人參政權案を自ら議會に提案しなければならない筈である。

又野黨政友會にしても、第五十六議會の成行を忘却せざる限り、婦人公民權は堂々黨議としてこれを提出せざるべからざる立場にある。

これを想ふ時に我等は、今年度の婦選獲得運動は、議會運動にあれ、政治教育運動にあれ、まことに的なきに放つ矢の過去より、遙かに目的に肉薄したるを感じ、勇躍を禁じ得ないのである。

如何に成行は政府、野黨をこの對立におくとしても、我等の一瞬だもゆるめざる運動なくば五十九議會の當然の成行さへも、いつ何處に消滅しないものではないのである。玆に我等の此一年間の張合ひある戰ひが存在する。

婦選獲得同盟幹部は内相に求むるに選擧革正調査會委員に婦人を加ふ事を以てした。然しこれはまだ容れられないが鬪爭の機會は、運動の手がゝりは、決して尠はないのである。

我等は勇躍一番、以てこの新春に今年度の鬪爭を誓ひ一途邁進を期すべきである。



第五十七議會への推斷

坂本眞琴

一、はしがき

過去の政治界は、決して通常的な推斷通りには、動きませんでした。突嗟、一夜に形勢は再轉したり、逆轉したりする事は決して珍らしい事ではありませんでした。この邊の事情は、少しでも過去の政界に注意を拂ふた方々の、すぐにおわかりになる事と考へます。で、今私が（昭和四年十二月十日の〆切）筆を執つて、來るべき通常議會に對して、一の觀察や推斷を下す事が、實際上の推移とどんな、間のぬけた、隔たりが生じましても、それは、政界の方が、ひねくれるのであると、こう御諒察を願ひます。そして又私が只今試みます觀察と、將來に展開されます所の事實との間に、果してどんな相違がどの様にして、生じて來るかを御注意下さる事は多少諸姉の興趣ともなりはしないかと思ひます。

二、解散

來るべき第五十七議會に於ては、衆議院は解散されるであらうとは、殆んど決定的の事として、一般に見られて居ります。そこで、その時期その他に就ての觀察を下して見度いのでありますが、その前に、甚だ、幼稚な憲法解義の拔き書きの様なものでありますが、一應、解散と共行はれる場合を、手短かに書いて見ます。

時の政府が、自信を以つて重要な仕事を政治の上で試みようとしますと、そこに時として新らしい法律をつくつたり、廢止したり、改めたりする必要も生じませうし、又殆んど例外なく、その仕事には費用を伴ふものであります。ところが法律の新制、改、廢は勿論費用の點でも、屢々それは、議會の協贊を經なくてはなりません。そこで勿論政府は、その仕

事にともなふ、法律案や、豫算を帝國議會に提出して、その協賛を求めます。ところが今もし民選議員よりなる衆議院がこの政府の仕事に反對して、如何に政府が辯を盡し、情をのべて説明してもその費用の支出や法律の改廢に贊成しないとすると、政府は、自己の信ずる所によつて行はうとする重要な仕事が行へなくなります。

そこで、これは衆議院では反對する者が多數ではあるが、これは必らずしも、國民の現在の意見ではない。政府は國民の多數がこの仕事に贊成してをる事を確信してをる、と云ふ樣な場合に、「衆議院の解散の奏請」と云ふ事に立ち到るのがごく、普通に解釋される所の解散の意義のやうに思はれますしかしこの考へ方は、どの樣にも廣く解釋されませう。現在の日本の樣に、二大政黨が對立して居て、相互に必然的な反對で押通す樣な具合になつて居りますと、現政府が、その重要案を、衆議院に提出して實際論議を闘はしてみる迄もなく、必らず野黨にして多數黨たる政友會は、それに反對をしますそれならば、その樣な面倒を踏まずとも、議會開會直後に解散が行はれても、誰もそれを不思議とも、違憲だとも思はないでせう。それならば、現濱口内閣は如何樣にして、どの樣な時機に解散を奏請するでせうか。

十二月下旬に開會される、通常議會は、普通（大隈内閣が例外的な年内審議を試みましたが）議長、常任委員等の選擧をすまし、開院式が仰せ出され、その後すぐに長いながい休暇となつて、實際の審議の始まるのは、一月の下旬となります。それに總理大臣の施政方針の演説や、大藏大臣の財政演説等も、一月再開直後に行はれるのが恒例です。濱口さんにしては、初めての施政演説でもあり、國民の選良に對して、誠意を傾けて、その抱負を述ぶるの機會でもありますので、その事の前に解散のあらふとは到底考へられぬ所です。それにあの克明な濱口さんの事ですから、几帳面に國務大臣の演説に對する質疑と云ふ樣な議員の質問にも、丁寧に答辯を與へて、國民に現政府の意のあるところを知らしむるにこれつとめる事でせう。

この質問應答を一通りすますのに數日を要すると、一月の末になります。そこで、果してどんなきつかけで解散が行はれるでせうか、凡そ下の樣な場合が考へられると思ひます。

(1) 政府不信任決議案が衆議院に提出され通過確實の見込のつきたる時。

(2) 總豫算案その他の重要案の否決か大修正の形勢顯著となりたる時

(3) 議場甚しき混亂におち入りたる時。
(4) 與黨をして政府信任案を提出せしめ、その否決されたる時。
(5) 最も直截に、現政府を支持する衆議院議員は、反對する議員數に比して、遙に少數、かくてはその重要政策を遂行する事殆んど不可能なるを以つて、玆に國民の總意に問はんために「解散を奏請」したい言明して、施政方針の演説とその質疑應答の一部分を終りたる時に、解散する事

以上のうち(1)は從來屢々行はれたる所でありますが不信任案が提出されないと(解散回避の爲めに不提出となる事は考へられます)機會が來ない事になります。

(2)をまつと必らず機會は來るが、一ケ月餘と時機が延されます。

(3)は勿論待望すべきものではありません。

(4)の政府信任案提出と云ふ形式をとれば、よも政友會は贊成しますまい。自然この方法によれば、政府は自分の思ふ時に衆議院を解散に導くを得て好都合の樣にも思考されますが、私の知れる限りに於て、日本にはこの前例がないやうであります。(フランスではかなり頻繁に行はれて居ります)從つて、これも如何にもワザとらしいのと、新例を作る等の點からみて具顯の見込は少ないと思ひます。

(5)は私共の最も好もしいと考へてる所であり、又あの克明な濱口さんの、やりそうな一の型でありますので、或は實現を見るかもしれません。私は、それを望んでやみません。

(5)又は(5)に近い方策によつて、衆議院が解散をみるとしますならば、それは當然一月二十八九日頃から、二月五日位迄の間でありませう。かくなりますと、三月には當然總選擧が行はれませう。(前回の昭和三年二月の總選擧以來經過時間は約二ケ年で、復總選擧を見る次第です。)

三、婦人參政權團體と來議會

解散なしとするか、あるも會期の大部分を經過したる後との前提あるならば、婦人參政權案と第五十七議會に就いても要望やら、觀察やらを、詳述するのも亦甚だ有意義な事でありますが、婦選同盟の會合毎に、總選擧對策と云ふ樣な事項が、盛に論議されてをる折柄、どう氣を取り直してみても私のペンは、それ等の詳述に向きません。でそれは次の機會に讓り、只玆に切に諸姉の御注意を喚起しておき度い一事は、あの政界大疑獄の刺戟は、政界選擧の廓清の聲となつて、國

民の間に擴つて參りました。この聲に驚ろいた安達內務大臣の雅量は、選擧法改正の大調査機關設置の聲となつて來ました。さうして從來は主として無産政黨間にのみ通用した黨費公開だとか、最近尾崎行雄氏、清瀨一郎氏等の主張する選擧公營、と云ふ樣な項目がその、安達さんの草案の中に見受けられるのを見ては、時代の急端な流れの響をきく氣がします。

その安達內相の草案の最後に婦人參政權の事が附加されてあつて「先づ公民權より」とかゝれてあつた事は、少し新聞の報導を注意して御らんの方の尙御記憶に新なる處だと思ひます。この安達內相調査項目草案に婦選の加はつた事を以つて、事成るに近しと云ふ風に喜ぶ事は非常に早計であつて危險であります。私が指摘する重點は玆にあります。安達さんの所謂大調査機關の如きは、その設置をみる前に（でなければ實際審議を始むる前）議會は解散となるかも知れません。どんなにした處で、五十七議會にして解散をみる以上は次の總選擧には到底間に合ふものではありません。これを調査しこれを決定し、閣議を經、樞密院を經、議會の協贊を經る迄に一年や二年は、わけなく經過してしまひます。即ち、次期の總選擧迄が目標とされるのです。選擧公營、比例代表等の困難にして議論の餘地の多すぎる問題を多量に包藏する調査機關に附托されたるを以つて、私共の運動の熱意と鬪志とを少しでも喪失するならば、「目下調査中」の鐵壁的の答辯を滿喫する事によつて、次期の地方議會の總選擧（それは解散ありとみて、當來議院の次々期選擧よりも約一年早く來ます）に婦人公民權案は間に合はなくなります。で私は、切に同志諸姉に希望してやみません。安達さんの草案の具體化の如何にかゝはらず、帝國議會に對して、婦人の政治結社加入解禁公民權附與の即時的要求と、全般的婦人參政權の要求に對する、熱意と鬪志とを捨てずにあつて頂き度い。婦人自らの熱求の沸き立つに非ざれば、彼等はいつ迄もそれを引のばす事を以つて寧ろ喜びとするでせう。

解散―總選擧

A 疑獄事件も年内には片づかなかつたやうですが、私どうも解しかねるのは、黨費として貰つた金は、罪を構成しないといふ事です。

B 法の不備ですね。

A 一體今日の各政黨のお臺所向はどういふ事になつてゐるのでせう。黨費公開とか何とかやかましい樣ですが、これが國民にも納得がゆかなくては、政界淨化は出來ないのでせう。

B 全くです。今、政友、民政兩黨の經常費は各約二萬圓といはれてゐます。これは黨員が百圓、總務格の人々は名譽税としてもつと出すが、この黨費は貴衆兩院議員で各二百五六十名あるが、未納者も多いから、中々以上で二萬圓にみたない、そこで、幹事長あたりが種々才覺して來る、尙足りなければ總裁に出して貰ふといふ譯、これが平常のお臺所で、選擧となれば、その費用は又別に作るのです。

A 總選擧ときいたゞけでもお金が惜しい氣がしますが、なければ候補者が各自作るのですか。

B いえ。代議士などゝいふものは歲費を三千圓貰つても、所得税や黨費を天引される、自家の臺所に二千圓位はかゝるだらうし、選擧區の培養、縣會議員の援助、町村への補助など考へれば、三千圓ではとても足りない位ですから、普通にしてゐては金はありません。立候補する時は、黨で公認して貰ふと、總裁から貰ひ、又黨の幹部からも足して貰ふのです。

A その金は誰が作るのですか。

B まあ總裁自身が作ります。

A だから、そこで疑獄など起り易いのですね。

B 尤も濱口さんや犬養さんなんかには、さう右から左へ、この金を出すから事業の方で甘くなどといふ際どい金よりも、蔭ながらの後援者が出す方が多いのです。

A 所謂財閥ですか。

B まあ政友は三井、民政は三菱と普通いはれてゐますが、矢張總裁になる程の人々は若い時から見込があると物質的援助をしてくれる人がある。又金の心配がなければその人も伸びられて偉くなるといふ風に相當な援助者があるのですね。

A 所謂政商はどうなのですか。

B 勿論出します。此方が出し振も中々いゝが同時に報償の問題が必ず伴ひますから危険ですね。

A 今年の樣な年はその金の集りは余りよくはないのではありませんか。

B 勿論不景氣ですから、よくはありませんだからどうでも出さねば義理の惡い連中でも、上手に洋行などをして選擧の間逃げ出します。

A 民政黨が大丈夫勝つ譯でせうか。

B さあ、疑獄事件は政民兩黨にありますし金解禁の問題もあります、現内閣の緊縮政策が今後破綻せず、候補者の亂立がなければ比較的民政は勝利をえ易いでせうが、決して樂な戰ではありますまい。

A 無產黨は進出するでせうね。

B 勿論前回より多數の當選者をみるべきですが、社民黨の分裂その他この方面もとかく問題が多いから、地盤協定なども決して前回より遙かに多く行はれる譯にはゆかない樣子で、案外殘念な結果をみるかも知れません。

A でも民衆は政黨の醜い所を澤山みたから余程自覺して來たでせう。

B 表向は金も貰へない破目に段々陷れられてゆく事はいゝ事ですね。とにかく國民が婦人も一緒になつて選擧革正をやらなくては駄目です。この意味で、此度の選擧にも婦人たちが、大に働く場所がありさうですね。

倫敦軍縮會議

藤田たき

軍縮會議正確に云へば五ケ國海軍々縮會議は昭和五年一月二十一日ロンドンに開かれる事に決定し日本全權若槻禮次郎氏、財部彪氏は既に渡英の途にある。

軍備制限、或は軍備縮少の唱導せられたのは決して最近の事ではない。歴史を繙けば遠く十六世紀の終にさへこの計畫のあつた事を知るのである。しかし實質的收穫を得るに至つたのは世界大戰後の事である。

世界大戰爭は人類史上未曾有の慘禍をもたらし人心は漸く互ひに人を殺しあふ恐しさ、無意味さを知るやうになつた。故にパリ平和會議の時早くも海軍競爭中止の說さへも出たが始めて軍縮がしつかりと足跡を印しづけたのは大正十年のワシントン會議に於いてゞである。

一、ワシントン會議

ワシントン會議は海軍々縮に關し半ば成功し半ば失敗した即主力艦（戰鬪艦）の縮少に成功し、補助艦（巡洋艦、驅逐艦、潛水艦）の縮少には大失敗した。主力艦に關し次の二の事を定めた。

（一）主力艦の大きさは三萬五千噸に制限する。（今までは四萬噸）

（二）各國が保持しうる三萬五千噸軍艦隻數は、英、米、各々十五隻、日本九隻、佛、伊各々五隻、云へかへれば英、米十、日本六、佛伊三・五の割合ときめたのである。

この會議の爲英、米、日の三國が主力艦の建造を中止し、若しくは既製艦を擊沈した噸數は米國、八十四萬一千五百八十噸、英國四十四萬七千七百五十噸、日本の三十五萬四百七十噸であつた。とにもかくにもワシントン會議は主力艦の縮少に大成功したのである。がこの會議に於いて補助艦に關し

取りきめた事は單に(一)巡洋艦は一萬噸以下にしやう。(二)それに積みこむ大砲は八吋以下にしやうの二のみであつた。されば主力艦に於いては制限されても列强は補助艦建造おかまひなしと云ふ不合理な立場に置かれたのである。この不合理、不徹底を取り除かん爲、米大統領クーリッヂによつて招集されたのが昭和二年のジュネーヴ會議であつた。

二、ジュネーブ會議

しかし悲しいかなジュネーヴ會議は始めから失敗であつた何故ならば佛、伊はあの十、十、六、三・五の割合を補助艦にも押しつけられる事を恐れて參加を拒んだからである。しかし集つた三ケ國はともかくもベストを盡して解決法を見出さんとした。英、米は巡洋艦を各々五十九萬噸まで保持する事を約束した。こゝまでは無事であつたが愈々その五十九萬噸の内容に立入つて話合を始めた時になつて俄然形勢は樂觀を許さなくなつた。即アメリカは許るされた範圍内で大きい巡洋艦を澤山造らふと云ひ、英國は小さいのを澤山作りたいと云ふ事になつた。この希望は各々尤な事である。英國は世界第一の殖民國である。その地球上に散在する殖民地を保護し且つ本國の糧食の道を安全にせんが爲には、小さい舟でもかまはぬから澤山必要である。しかし米國は殊に太平洋を舞臺とする時に例へば、パナマ運河からハワイまでにして四千五百哩もあり、途中で石炭も石油も積み込む處がない。從つて大きい舟を數少くとも云ふ注文である。一寸素人考では英が小さいのが好きで米が大きいのを好きなのなら御勝手にと思ふだらふが、扨實戰上から考へて見ると小さい船の小さい大砲は遠くにとゞかない。大きい船の大きい大砲は遠距離がきく。故に大きい船の彈丸はあたるばかり、小さいのはあてられる一方と云ふ事になる。故に英國は米國も同じく小さいのを數多くにして呉れと虫のいゝ注文をした。米國は勿論きかない。日本代表の斡旋の甲斐もなくジュネーヴ會議は美事決裂してしまつた。

三、倫敦會議

決裂後英米間の雲行たゞならぬものがあつたが米國に世界平和に熱心なフーヴアー氏大統領となり、昨年六月英國に英米親善と軍備縮少を政綱中の主なるものとするマクドナルド勞働内閣成るに及び再び軍縮の期は圓熟したのである。東西の軍縮熱望家は直ちに海軍々縮に關する内交渉を始めた。而してこの英米間の内交渉はトン／＼拍子にすゝみ早くも十月

七日附英國政府は日米佛伊に招請狀を發送した。
招請狀內容の主なる點は次の如くである。

(一)英米兩國は各艦種にわたり勢力均等の原則を採用す

即主力艦に於ける如く補助艦についても英米の均勢を認めると云ふわけである。又ジュネーヴ會議決裂のもとである巡洋艦に關しても次の程度までの協定が見られたのである。

英	八吋砲巡洋艦	一五隻	一四、六八〇〇噸
	八吋砲以下の巡洋艦	三五隻	一九、二二〇〇噸
	合計		三三、九〇〇〇噸
米	八吋砲巡洋艦	二一隻	二一、〇〇〇〇噸
	(英國案)	一八隻	一八、〇〇〇〇噸
	八吋砲以下の巡洋艦	一五隻	一〇、五五〇〇噸
	合計		三一、五五〇〇噸

(英國案全噸數三十萬噸を超過せざる事)

この數字を見て或人は英米勢力均衡と說きながら、英國は巡洋艦合計五十隻三十三萬九千噸を要求するに米國が三十六隻三十一萬五千五百噸で滿足するとは如何と質問するであらう。一見不思議のやうであるが、之は英米苦肉の策、即標準尺度(ヤードステツク)で說明出來るのである。前述の通り大きい巡洋艦は實戰の時小さい巡洋艦よりずつと威力を發揮する事が出來る。この大きい巡洋艦と小さい巡洋艦の實戰時の實力の差をはからんと試みるものが標準尺度である。これによつて計つて見ると、全體の噸數と隻數では英國の方が多いけれど八吋砲巡洋艦は米國の方が、數多い故、結局巡洋艦の實力は英米ほゞ均等になる譯なのだ。かくして英國が小型巡洋艦を多く持ちたがり米國が大型巡洋艦を多く持たんとするその各々の望を叶へやうと双方歩みよつた次第である。

(二)ワシントン條約の規定する主力艦代換計畫の再考

軍艦は一定の年月を經ると實戰に役に立たなくなる所謂老朽艦は之である。老朽した艦の代りに新しい艦を造る事を代換と云ふ。ワシントン條約によると、一九二一年(大正十年)から十ケ年、即一九三一年(昭和六年)には主力艦の代換を造る事が出來る約束だが、今度の英米協定は一九三六年(昭和十一年)まで之をのばさう。また一九三六年代換の時には主力艦の大きさをもつと小さく備砲も小さくし、全噸數も減らしたい。之等の事を來らんとする會議で討究する事に協定したのである。

(三)潜水艦については英米兩國は全廢に異議なし。

勿論日本政府は海軍々縮に贊意を表し十月十六日附欣然參加の旨を傳達した。しからば右三點に關する日本の態度如何?

四、日本の態度

第一に巡洋艦に就いて日本は英米に對して十、十、七を要求する。多年研究の結果、日本は最强國の七割の勢力、即英米の十に對して七割ないと國防が安全でない。殊に八吋砲巡洋艦は英國の七割でなく、米國の七割が是非とも必要だと云ふのである。而して米國が要求する八吋砲二十一隻は多すぎる。少くとも十八隻にしてほしい。而して英米共に總噸數を思ひ切つて少くし、眞の軍縮を來したいと云ふのである。日本の此の要求に對しては英米共に難色あり、日本の要求七割は仲々にいれられぬ模樣である。

第二、即ワシントン條約の規定する主力艦代換の計畫に對して日本は反對しない。否日本政府は之に關し一の提案すらもつとの報導である。ワシントン條約によれば主力艦の艦齡は二十年であるが、日本提案は之を二十四年乃至二十六年に延長し、その上主力艦の噸數を三萬五千より二萬五千に引き下げ備砲の大きさを十六吋より十四吋に引きさげ、單に補助艦のみの軍縮に非ず主力艦をも含む軍縮になさんとの意氣込とかである。

第三、即潜水艦に關しては英米に比して主力艦、巡洋艦、驅逐艦の勢力遙かに弱き日本にとつては、國防の爲絶對に必要である。故に日本としては全廢大反對を主張する筈であるといふにある。

來らんとする軍縮會議は始めより祝福されてゐる。何故ならば危ぶまれてゐた佛、伊も欣然參加を申込み既に全權の任命も終つてゐる程であるから。

殊に祝福さるべきはこの英米協定、ひいては軍縮會議は招請狀の說く如く、不戰條約に出發點を置いてゐる事である。不戰條約は勿論『人民の名に於いて』の爲議會で大騷ぎとなつたあの條約で一九二八年八月二十七日パリに於いて調印を了したものである。その第一條に『締約國は國際紛爭解決の爲戰爭に訴ふる事を非とし、且つ相互關係に於いて國家の政策の手段としての戰爭を拋棄する事をその各自の人民の名に於いて嚴肅に宣言する』とある。

此不戰條約に依て戰爭は罪惡となつたのである。戰爭が罪惡となり、此世中に戰爭がないものとしてかゝるならば何の軍備の必要があらう。此不戰條約を土臺としてこそ軍縮も、また遠からぬ未來に於いて軍備全廢も可能となるであらう。願はくばロンドンに集る全權等が徒らに口に不戰條約を說くのみならず眞に之を守神として世界平和の爲健鬪せられん事を

◇……◇一頁評論◇……◇

婦人軍縮代表にのぞむ

新妻伊都子

軍縮會議へ日本婦人が乘りだしてゆく！

それは何んとすばらしいことではありませんか。

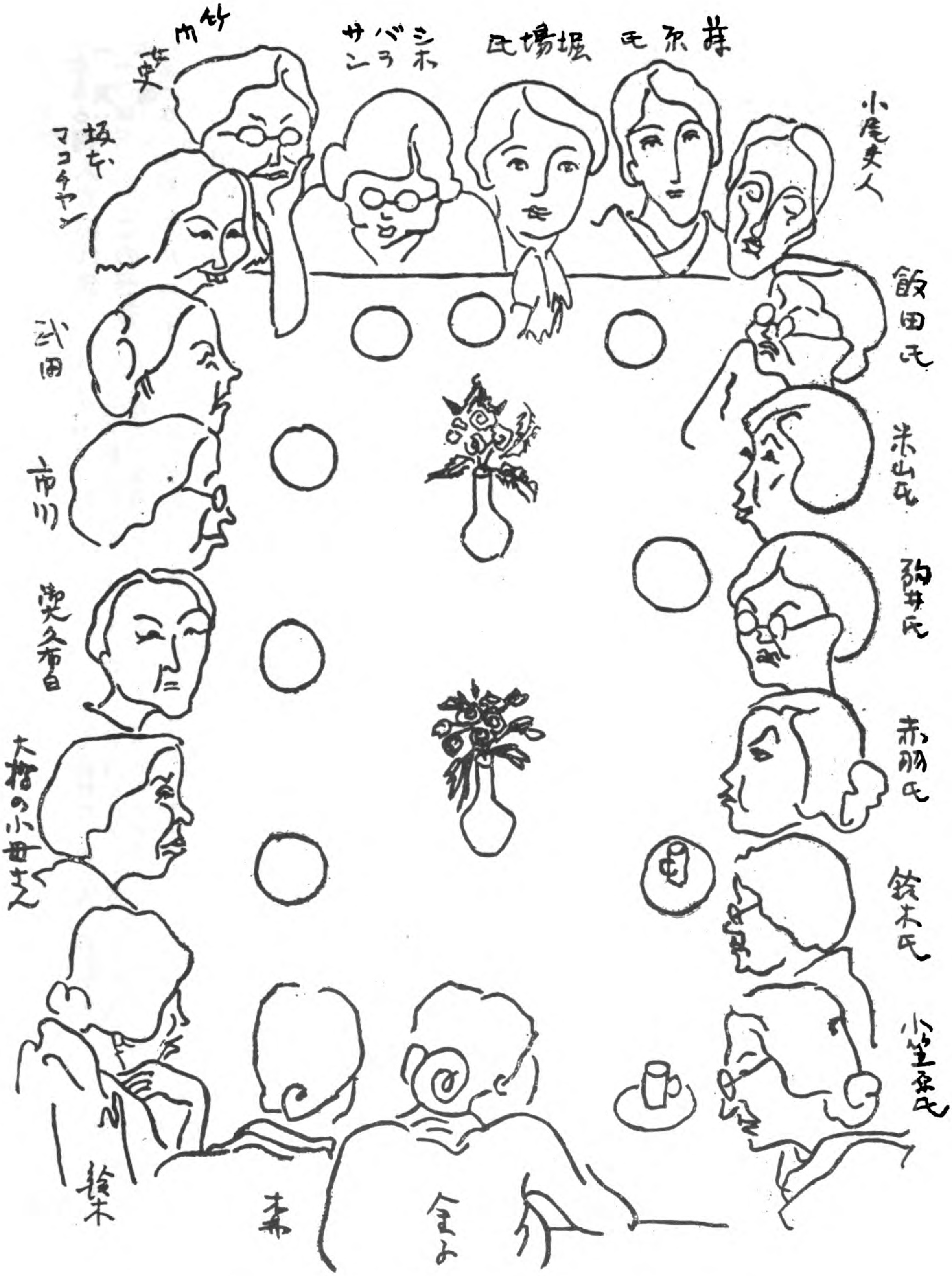
その昔、日本婦人が外國を訪れると云へば華な巴里に、ポンペイの廢墟に、そここゝの見物か、はた又勉强の爲の遊學か、ぐらひのもので、それ以上のものと云へば出稼移民の花嫁として押出す位ひが關の山であつたでせう。然るに最近、日本婦人の國際的發展は、汎太平洋會議、萬國婦人參政權大會、社會事業大會、曰く何々、所謂基督教系の事業範圍から脫して居る會合に、大多數人の代表者として出席するようになつたこと、そして、又、その代表者を選ぶについても、お座なりなものでなくなつたことも、祝福してよいことゝ思ひます。

今度軍縮會議に乘り出して、我日本婦人の進出を示さうとされるのは、婦人矯風會の副會頭林歌子女史と同じ會にその人ありと知られて居るガントレット恒子夫人であります。林女史は矯風會を代表して、ガントレット夫人は、何でも個人の資格でゆかれるとか、先づ第一に訪づれるのは、來春一月初旬米國のワシントンに於て開催される戰爭防止婦人會議で、それがすむと、來年一月倫敦に開かれる五國軍縮會議に繰出して如何に日本婦人が軍備縮少について切望して居るかを示す爲に、日本婦人十萬の軍縮希望の請願書を携へ、各國代表を一人々々說きまわり、動かさうとするのだそうであります。こうした年配者のお二人が、かくも熱心に、體もおいとひなく活動して下さることは、私共の深く感激させられるところのものであります。それで、私もこゝに日本婦人の一人として、まづしき考への一端を述べ、軍備縮少を贊成すると同時に、お二人へ此粗末な一文を餞むけとして捧げ度い次第なのであります。

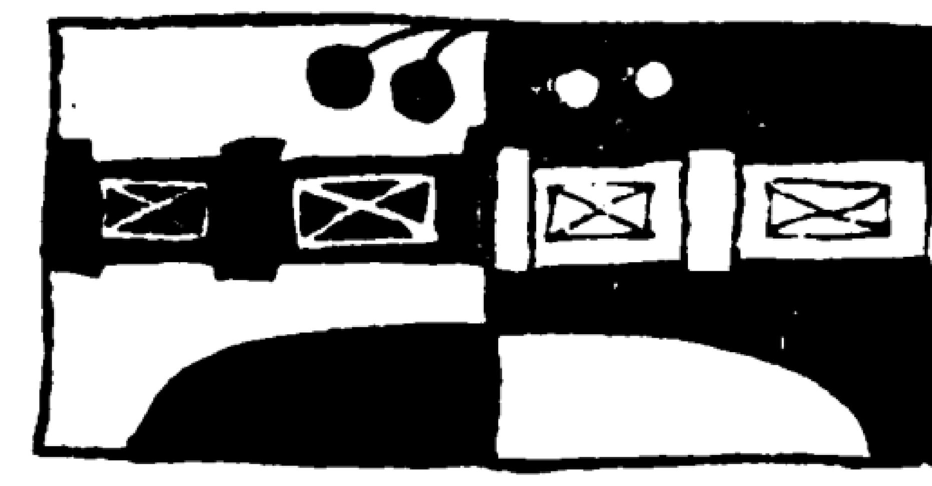
血生臭き戰野を禮讃するのは、昇級を望む軍人達、そして大合戰の報に胸をとゞろかせながら算盤を彈くのは資本家であります。國の正しき政治を執るべき人達も、黃金に支配されねば今のところ仕事は出來ぬ有樣、依つて資本家と握手をするか、或はその傀儡となるか、ともかく現代の社會に於ては資本家中心時代なのでありませう。それで、資本家をより富ますことは、國家の財政をより豐富にすることゝ、考へて居るものも少くなくはないと思ひます。こうした資本家と政治家との因果關係は國家をして帝國主義を標榜せしめることゝなりませう。お互に利權をのみ構想して居る國同志が、謂ひ換へれば、お互に、隙間さへあればお隣の物を失敬しようとして居る國同志が、一旦緩急のある場合を、何うして想像せずに居ることが出來ませうか。

これに反して眞に軍縮を望むものは、無產階級の人達と婦人であると思ひます。なぜならば、一度戰爭が起りますなら、第一線におかれるものは多く無產者であり、更に貧しき家庭は父や子を奪はれて食へなくなり、或は增稅に苦しめられ苦しみの上に苦しみは重ねられるものであります。又婦人として考へられることは、あまりに慘酷な非人道的なものを廢したいのと、恩愛の情からで、多くは感情から訴へるものであります。

扨て、今度の軍縮會議ですが、何れだけの持ち合ひで、どれだけの縮少が行はれるようになりませうか。これは帝國主義國家の代表者達によつて、決議されることですが、我婦人代表は、眞に世界の平和を祈るならば、すくなくとも感情より起る平和運動を鼓吹するだけにとゞまらず、無產者の必然たる要求である、戰爭廢止の階級的運動の一端を、加へて頂き度いことを望んでやまないのであります。



婦選座談会之図



婦選座談會

―地方代表を迎へて―

司會 金子しげり
漫畫 森 鑛

出席者

金澤 駒井靜子　名古屋 小尾ふさ　東京 久布白落實　同 竹内茂代
同 米山久子　同 藤原靜子　同 市川房枝　同 武田睦子
長野 小笠原嘉子　同 飯田しやう　同 坂本眞琴　同 鈴木澄
同 赤羽根仙子　同 堀場雪子　同 大橋豊喜　同 鹽原靜
同 鈴木ふく

婦選獲得同盟創立滿五周年記念の催しとして、地方支部代表及地方會員の上京を求め、記念會に先き立つて内相、犬養政友總裁、政民兩黨本部などを訪問した十二月十三日の夜、『婦選』主催の座談會を催して、地方代表たちの偽らぬ感想を聽き、興味あるこの記事を得ました。

◇地方婦人と婦選

金子 今日は皆様夜行で御いでになつた體を終日訪問に引張り廻されてさぞお疲れと存じ乍ら、又とない機會と存じ、夜分まで御無理を願つた次第です。何卒御寛ぎ下さつてお話いたゞきたいと思ひます。

竹内 地方の方にまづ伺ひたいのは、地方の教育家の婦選に對する態度です。女學校や小學校の女の先生の態度です。

藤原 賛成だけれど直接行動はよう取らないのではないでせうか。名古屋では確かにさうだと思ひます。

坂本 女子青年團なんかは如何ですか。

米山 この前演説會の切符を賣りました時、修養團の幹部に百枚位は買つて貰へるかと思つて五十枚持つて行きましたら一枚も手を付けずに返してよこしたのです。それが政治などに修養團は關係出來ないといふ理由なのです。所がその幹部は私の從姉で、高師出の先生なのです。修養團は國家を救ふ團體ださうですが、私は、國家を救ふといふ事を今少し科學的に考へて欲しいと思ひました。

竹内　解らないといふ事が主な原因ですね。青年團員がいやがるのでなく、指導者たちがこういふ問題を避けたがるのです。

駒井　教師はさしづめ首の心配があるから怖いものにさわるやうな態度しか取れんのではありませんか。

米山　縣の特高課の刑事などが支部を作るとすぐ來る。我々はかまひませんが、會員の方には氣の毒でもあり、大に迷惑です。

坂本　東京でも新婦人協會時代からさうです。終り頃は私の宅に事務所がありましたが、實にうるさい程絶えず來ました

金子　地方の婦人たちの樣子を少しお話し下さいませんか。

米山　金澤では縣立の第一、第二の二高女は割に理解があります。

小尾　名古屋では二週間程前、高等女學校の校長と婦人問題研究會員とが座談會をやりました。市會の傍聽なども此度市會議員に頼んで來春から行ふ豫定にしてゐます。然しまだ一般は進んでゐませんね。

米山　名古屋でもその程度ですか。それなら金澤は餘程いゝ方です。

大橋　縣會などに傍聽にゆきますか。

米山　今日も永井外務次官が話して居られた事ですが、此前安達内相が金澤に來られた時婦人の傍聽が一人もなかつたので、金澤はおくれてゐるといはれたら、永井氏は、いや進み過ぎてゐるから一人も來ないのです。明夜出席されゝばそれはよく解りますといはれた。それは婦人だけの會があるのです。そしてその會にはいつも立錐の餘地もないのです。

金子　長野はどうですか。

小笠　學校の先生は一般より遲れてゐるやうです。この間廢娼の請願を須坂の先生に頼みましたら、其儘兒童に渡して家庭に持ち歸らせた爲、問題になつたりしました。これは先生の無理解だと思ひます。

金子　無理解といふより輕卒ですね。

小笠　多少手傳つてくれる人が此程度で一般には何にもしない方が多いのです。

竹内　教育者の態度は、何といつても上にゐる校長たちに氣兼ねをするのですね

赤羽　さうです。共鳴はしても位地の爲に心になくやらないですます事は多いと思ひます。

飯田　私の知つてゐる二三校の先生達はやりたいが、男の上の先生に理解がなくてやれないといつてゐます。

久布　明治廿三四年國會開設當時、私は七八才の子供で小學校へ入つた許だつた所がその秩父の山中の先生が、明日は國會開設だと子供達に話してくれた、私共も何がなしに嬉しいやうな心持がした。當時日本國中の學校の先生がそういふ調

子であつたらしいのです。

竹内　今は政界に非常な人物、人格者第一人者もないのですね。

大橋　實際同感ですね。

久布　當時の政治家も、明日牢に入るなんていふ樣な危險さはなかつた。俥屋なんかも政治家はたゞでのせた位、國民の信望を荷つてゐたが今の政治家は全く腐敗して了つた。

竹内　此節の政治家は金次第でどうにでもなるのですからね。

米山　特權階級の政治ですもの。

久布　政治組織が悪いのだらうな。

米山　明治維新の破壞によつて新しい特權階級が生れ、それは封建思想がぬけない上に、尊王の美名の爲に、所謂藩閥を作りあげて專制的にやつたのですからね

久布　それに今日は金が加はつた。

米山　折角自由民權運動が起り、國會が開設されても、やがてまた政黨と財閥が結托して今日の狀態になつたのですから婦人なら婦人といふとにかく新しいものが出來ない限り今日の政界の情弊は一掃出來ますまい。

◇政界淨化と婦人

金子　此度の安達内相の選擧革正調査會に婦選問題が加はつてゐるのは政界淨化の目的からの樣ですが、皆さんさう出來るとお思ひですか。

小尾　思ひます。家庭でもさうですが、政界も女が加はれば蛆がなくなると思ひます。

米山　内相は夫人の力で他黨に身賣の誘惑から逃れた議員の實例をおもちだと、今日某所で伺ひました。

竹内　私の知つてゐる實例は著名なものです。確か十萬二十萬とせり上げて、一方高利貸からどし〳〵貸させて買收しやうとしたのださうです。所が奥さんがしつかり者で私の夫は三十萬圓でも斷然賣られませぬとはねつけたので、ものにならなかつたのださうです。

小笠　長野縣會を通過しました婦選建議案にも政界淨化の意味からこれを與ふべしといふ意味が入つて居ります。

市川　婦選實施で買收が少くなるだらうといふのは一つには有權者が多數になつて買收し切れないといふ事もあるのです勿論婦人の特性からともいはれますが、女はわりに變節しないと思ひます。

米山　金澤にかういふ話がありました。つい先頃の市議選擧に、農夫が普通選擧で有權者となつた所が、朝に星を戴いて出で夕に月を踏んで歸つても高々一圓の收入だが買收なら三圓、五圓と方々から誘はれる。つい違反を犯して擧げられ、訊問せられたその答に、普選でもうけさせて貰つて實に有り難い御代だと思つたといつたさうです。兩方から貰つてどう投票する氣だつたかといへば、五圓貰つた

方へは姓名を、三圓には名でといふ心持であつたと、まるで落語のやうな實話です。そこで私は考へました。普選で名さへ書けぬ男子に與へられ、結果は活用されてゐない、この補ひは何によるか、即ち婦選であると。ですから或場合には多少制限案でもよいから早く實施してほしいとさへ思ひます。

竹內　女の方が進んでゐるとお思ひになれますか。

米山　女はよくいへば正直だと思ひます田舍では男は山や海に働きに出掛けるのでおかみさんの方が、例へ井戸端會議にしても、社會の問題を論じあふ機會を持つてゐます。

久布　この見方は面白い。

赤羽　女がおくれてゐるといはれても、男もさうではないとはいへない。何れと差は一寸立て難いのではありますまいか私は今日は女も教育が進み、それに何れかといへば夫があつて衣食住の保證があり、政治に盡したが故にといつて格別生活費が入りませんから、寧ろ一心に盡せる、惡い金なんか取らないでもいゝ。とかういふ風に考へます。

市川　確かに婦人は直接生産の立場にたゝないから、其方面からの危險は少いでせうね。

竹內　被選擧權を與て、選出される場合も婦人議員が加はれば、少數でも淨化されると思ひます。女は本質的に氣が小さいから大勢で惡い事をしやうとする時仲間になれない、賄賂を取らうとしても親や夫子供の事などを思へば、そんな事にくみせない、取るにしても相談するといふ樣な風になると思ひます。

坂本　それに永い間政黨間の汚なさを見せつけられてゐますから、比較的その弊に陷らないで濟みませうね。

市川　男子には今の弊風が習慣性となつてゐるが、女は全然新しいからそれがないといふ事にもなりませう。

赤羽　田舍の無智な有權者は、金を偉いものと思ひ、權利の意義は少しも知らないのですから兩方から取つて違反で擧げられた時監獄に入つてもいゝから罰金はいやだといふのがよくあります。常識で考へられない事ですが今日男の人にはあるのです。この場合女なら金で濟めば何と工面しても牢にゆくのは免れたいと思ふのでせう。

金子　皆さん方の周圍で選擧の折に相當に買收の事實を御らんになりますか。

小尾　どうも買收は奧さんには相談せずに男の手から手に行はれてゐるやうです

鈴木　あれば當然妻として女はいさめますね。

小笠　中以下の所では女でも昔からさうしてゐるのですから取つてゐます。惡いといふ事を知らないのですから、

◇政治教育の問題

金子　先日長野の倉島夫人が次の總選擧には農村の女の人々を集めて、買收の惡い事を徹底的に敎へるやうな政治敎育運動を地方的に起したいといつてゐられましたが、如何でせうか。

小尾　名古屋でも全く必要と思ひます。

赤羽　一番必要ですね。今の選擧は買收だから金が入る、金が入るから當選すれば瀆職してゞも金を取戻すといふ譯ですから買收防止は淨化の大きな手段になりますね。

小笠　倉島夫人と出來る丈協力したい考へです。在に入れば知識が低く、善惡がわからないので、どうしたつて敎育運動が一番必要です。

武田　一體男子に選擧權が與へられた時には敎育が行はれなかつたのでせうか。

赤羽　永い間の特殊な習慣ですね

金子　制限選擧で初まつたからいけないのでせう。金のあるものだけ權利をえたから金の力で選擧を動かさうといふ事になつたので、其點、どうしても婦選は一時に斷行させなくてはなりますまい。

坂本　政治敎育の話が出ましたが、女子青年團の人々に政治をもつと知らせたいと私は思ひます。あの機關を利用して正面から婦選でゆかず、平易な婦人問題から入つてゆくといゝと思ひます。名古屋なんか御盛んでせうね。

小尾　名古屋市は人口百萬ですが、女青の團員は二百人位しか出席しない狀態です。

竹内　女青は都會によくない樣ですね。

小笠　信州は仲々よいやうです。どこに行つても婦人會と女子青年團があり、子供まで出て來ます。

金子　たゞその種の團體に婦選の方から連絡が取れますか。仲々用心してさけるのではありませんか。

坂本　私は婦人問題の話を求められると結婚問題から禁酒問題と順に入つてゆくから危險がられはしません。

金子　私は地方の運動に行き方が二つあると思ふのです。今のお話の樣に細く地方的に入つてゆく政治敎育運動と今一つは此度の金澤なんかの行き方で、いきなり中心都市で火の手を上げ、それに其地方婦人の注意を集中させ、實際運動で敎育してゆく。この二つをそれ〲土地に適應して用ひるといゝ樣に思ふのです。

小笠　田舍廻りをして私は今迄の修養談やお說敎式の話の型をやぶり、時事問題を話しますが、結果はいゝやうです。

米山　確かに地方によつて違ひますね。金澤は百萬石でお日和見の國です。こゝがあばれたら徳川が危い、徳川から憎まれ、にらまれてゐた爲に、團結して内部を見せない性質が金澤人に培はれて了つ

たのです。それで一つよいものだと思つたら乘りますが、よしあしの見定めが仲々難しいのです。今度は支部を作るにもまづ準備として短歌の會が主催で婦人問題講演會を催し、今井邦子夫人の萬葉のお話を間に挾んで、金子氏と奧氏に講演を願つたのです。所が初めての企て、女はいつも無料でさへ來ないのに、有料にしたのでとても心配しましたが、結果は八百餘人の聽衆で大成功でした。

金子氏には婦人公民權とは何かといふ事を話して戴いたのですが、こんな話がありました。政友會のカン〳〵の家庭に切符をあげてぜひ來て下さいといつたらとてもと思つてゐたのに一門引具してその奧さんが來られたのです。然しその肚は、米山の若いのが婦選なんか騒いで演壇にも上るげなといふので、それを見てやれといふ心持、本物の婦選が出たら、これみよがしに退場しやうといふのだつたさうです。それがどうでせう。金子氏の熱辯にひかされて終まで居て了つた。その上歸宅してからが又大變です。翌朝家の小僧がみて來た話では、そのお內儀さんが箒片手に、近所の女房を集めて演說を初めた。「そうやから女に權利は必要やがや」といふ譯なのです。一事が萬事で瀨ぶみも出來、さて支部を作れば警察の方からも穩健でこれなら結構といはれ、とにかく支部は確立しました。

竹內　何しろ政治教育は何によつても出來ますね。違反をやつて打ちこまれるのも一つの政治敎育です。

小尾　名古屋では此間の市會選擧に最低千圓。一、二萬も費つた人もあります。私はその金を用つた候補の運動員に、よくあんな人に運動したものだといひましたら間もなく收監されました。

米山　この間の演說會には尼さんも數人來ました。そして初めて解つたと喜んでゐましたが、この人々にだつて政治教育は必要です。

竹內　前に小諸で講演會をやつた時も初めは迎えに來ても近よりもせぬ、初まる前に斡旋してくれた代議士からは再三此地は保守的だからその積でといふ注意の電話、それでも開いてみれば、歸りは一しよに東京に歸りたいといつて見送りでホームが一杯、更にもう一度同地に行つた時に、その人々は二十餘名全部婦選の會員になりました。

米山　血は燃えてゐるのです。皮が破れんだけ、そこだけの問題です。

金子　私もいつか神戸で極內輪話を座談會でしたら一度に三十人入會者が出來ました。今迄遠いと思つてゐた事が、自分たちの問題だつたといふ、そこが一番大切な點ですね。

駒井　夫の理解も大切です。此度の經驗で夫が、切符を見てこんなものきかせる

と夫婦喧嘩の時困るといつて返したのがあります。

小笠　我儘な御主人は多數ですが、要は時の問題で、夫を敎育する他はありますまい。

米山　所が妻君の方から、切符を見て夫の前でこんなもの詰らん〳〵と、つまりはこびて淑德を發揮する連中も尠くありませんね。

坂本　女子青年團を敎育して、結婚してそんな態度を執らない樣にさせなくては…

◇大臣政黨本部訪問の感想

金子　今日の訪問の御感想を一つ。

飯田　民政黨のどなたか、暇がないから云々といはれたのは不快でした。私は事業を有つてゐて十二月は忙しいが出京しやうと思へば出來ない事はない、心に思つてゐれば出來る事です。

市川　あの人たちにとつては自分達の直接の問題ではないのだから。

赤羽　犬養さんは忙しいのに、悠りあつて下さつたので感謝しましたが、內相ともいはれる人が、それは當局者だから言明は出來ますまいが、やる心算ですと少しは色をつけられてもよかつたらうに、餘り冷淡でした。

市川　當局者として當然國民に答へる義務がある筈ですね。

小尾　私は犬養さんはいゝ方で呆れましたし、政友本部ではあんなにまで取引があるとは思ひませんでした。內閣も冷淡で、總理がいくら忙しいといつて面も見せられないのも一體誰れの總理大臣かといふ氣がしました。

駒井　私はどこへ行つてもからかはれてゐる樣で不愉快でした。

堀場　私はどうも殺風景で、だから女が入ると平和に、荒れた砂漠をオアシスにして行けると思ひました。

鈴木　何だか婦人の出て來る所でないといふ態度が露骨であつた樣に思ひます。殊に政友の森幹事長の應答は婦人を侮辱してゐます。

米山　私は內相と親しく話してみて、やはり男女共に語るのはなごやかなものだと思ひ政治もかくあらせたいと痛感しました。

鈴木　どうも政民互にさぐり合ひらしく感じられ、政黨はいやなものだと思はせられました。

米山　私は又昔からの陰陽の理で、女性に對するいゝ意味の男性らしさも感じました。

竹內　婦選に反對する男の蔭には女があります。立派な夫人を有つ男子はこの問題に理解があります。

米山　それは確かにさうでせうね。

金子　男が理解を有つのが仲々だといふ

ますが、女自身がまた仲々ですよ。こゝにおいでの竹内さんにしてみても、初め創立の時に入會勸誘狀が行つた時、封筒みたゞけでぞつとしたり、その後會の幹部になられてからでも獲得の獲は、けもの扁で、何だかむしり取る樣でいけないから收穫の穫は、禾扁で植物がみのるといふ自然の意味があつてよいからぜひ改めやうと、ある年の總會に出された位です。

小笠　私もその話を長野の講演會の時秋山花子氏の口から聞き、本當に欲しいものならむしり取る位でなくては取れないと思ひ、秋山氏の言が反つて物たりなくさへ思ひました。

鈴木　私は政友兩方とも收賄で汚れてゐるのですから、婦人が起つて婦人黨を作り、政治の手本を示したいと思ひます。

栗羽　婦選を得るには教育の普及を待つてゐる譯には行きません。

米山　私は又皆さんと少し行き方が違ひます。私が新しい女の方々に婦人運動を起された當時十七の乙女としてこれを傳へ聞き、三千年の光輝ある日本婦人が青踏者流に破壞される事を怖れましたが、勿論正しい婦人運動の必要は痛感しました。金澤のお嫁さんはもゝわげ姿で終日お針をしてゐます。この人々をめざめさす必要がある、その指導者には新しい婦人は駄目あの人のやる事なら大丈夫といふ婦人が起たねばなりません。鍋釜をこする手から今に叫ぶ日が來ると、私は針仕通の下に雜誌を忍ばせて嫁女時代を無事通過し、母性が得た力を以て進出、支部を作る前提として講演會も開いたのですが、講師の選定にしても一面識あるでなし、因循だがよい所も多分にある金澤婦人の第一聲、話下手な人でも困るが、とにかくしつかりしてかゝらなくては、中央の婦人達だからとびくついてゐてはならぬ、金澤婦人の自覺を示せと、直感の鋭い連中數人が停車場に出かけたのです。

鹽原　講師のメンタルテストですね。それに金子さんが無事合格した譯ですか。

米山　これなら大丈夫と實は安心したのです。乙女の日の婦人運動者に較べて何といふ好評でせう。それに又私共は講演會前の會食の席で、金澤婦人の意氣を示す爲に皆が一言づゝ話しました。

金子　それに私が驚いて歸つて報告したのです。とても金澤の女は偉い。皆一言あつてそれがとても確かりしてゐるつて……そうですかそういふ御用意もあつたのですか。

米山　これで、もゝわげに黑繻子、前垂れの金澤婦人の間にも堅實な婦選の空氣が作られたのです。かうなつたら命にかけてもやります。

久布　そのお話をきいては私も打明話をしませう。私が胎內に宿ると同時に母がヤソ教になつたので、生れ落ちるとヤソ教です。婦選に入つたのは四十歳。その動機は廢娼運動を七八年やつて來ても、どうしても埒があかぬ。女が力を得る他はないとやり出した、大正七年にこれを言明して、八年にガントレツト夫人を外國にやつて萬國同盟に連絡をとらせた。然し私の綽名は暗闇から牛といふので、わかるまではウンといふ人間でない。矯風會の內でやるやるいひ乍ら、やり方もわからず、調べて來いといはれて十一年自分も海外に出かけ英米獨各國を廻つて、ジエン・アダムスにもフオーセツトにもあつた。そして日本婦人もやらにやならぬおそくてはいかぬと思つて歸つた。が必ずやれると思つて歸つたが仲々動けぬそこで仲間の人に話した、これは國民運動だ、宗教の範圍その他を離れ、皆一緒になつてやらねばならぬと。その內に大震災、あゝこの時だと私は思つた。初めは東京市のミルク配給の仕事から東京聯合婦人會が生れた、その內の政治部に、私は金子、河崎、坂本などの諸氏と初めから加はつた。一年間は民法の研究、その他をやつた、十三年の秋になると愈々次の議會に男子普選が通るといふ事になつた、この時に至つて政治教育だけではいかぬと私は思つた。そこで案を作り、田川大吉郎氏に見せて計つた、そして十一月十三日大隈會館で、私とガントレツト氏の名で、都下婦人團體を招いて懇談會をする事になつた。六十五名の婦人が集り、協議の結果、私は團體の聯合で議會運動をやりたかつたが、白紙になつて

やらうといふので決せず委員に附託し、それが夜九時までかゝつたが個人說が強い、私は便所に入つて考へた、そして大勢の赴く所を思ひ、贊成した。

それから一ケ月燼跡の矯風會バラックに籠つて準備を重ね、十二月十三日發會式を擧げた。そして總務理事に擇ばれた。何しろ自分がまだのみ込めない會だし、四十年ヤソから出ない自分が、宗教の異同も思想の異同も問はず、女なら皆入れるこの團體で、この役目がつとまるかは踏み出しても疑問だつた。だが愈々やつて見ると熱烈火の如き中澤女史を初め市川女史其他でさしより貧乏世帶も一期だけはわいわいで過ぎ、三案を建議案で提出もした。それからとにかく今日に及ぶまで常に問題は起る、波は立つが私は決してうまくなんかやれないが、仕事は皆がやる。自分はただ十五人の幹部が日本婦人全體の信頼を受けるに足るかどうかだけみやう、これだけやらうと決心した。所が婦選に來るやうな人は皆問題はつきものだ。そこで私は新聞がワーといふと火元にいつて例の牛根性で調べてみてこれは意とするに足りぬと思へば安心して歸つて來る。眞相は何でもありませんといふ。これで納まる。五年間私はこれで無事に來た、誠心誠意石は石で働く所ありと信じてゐる。今後も私のいきてゐる限りこれは動かない。どうか地方の皆さん方も相協けて益々やつて下さるやうお願します。

金子 どうも有りがたうございました。

ふせん颪

×

近頃では太陽の黒點とやらいふもの丶存在のために舊冬のやうな狂ひ陽氣も現出するが、我が婦人界ばかりは婦選颪ます〱峻烈颯々ならざるを得ない様子、新春のうらゝかさに、せめてこの月位サボりたいは山々乍ら、益々鋭鋒をとがざるを得ない罪はむしろ風の神より山の神にありか。

×

地方の婦人たちが偶々大臣、政黨幹部を訪問しての感想に、『一體だれの總理かと思つた』とか、『頭からの取引に驚いた』とか『どこへ行つてもからかはれてゐるやうでいやになつた』とか、僞らない感想を洩してゐる。我れ〱は婦人に政治的知識がどうとか、かうとか、のたまふ所謂政治家よりもこういふ率直な、純粹な婦人たちの方が政治の核心を掴んでゐると思ふ。尠くともかういふ婦人を、市役所の窓に大臣の秘書官の椅子に坐らせたら國民の政治に對する心證は今少しよくなりさうだ。

×

婦選獲得共同委員會が解散した。無産團體が皆抜けて了つたので、それでは聯合運動の昔に戻る譯なのですつぱりと片づけたらしい。已成團體はもとから協力して行ける仲だから問題ないとして、黨と行動を共にすといふ社民婦人同盟無産婦人の立場で大にやらうといふ無産婦人同盟が、現實に於て出來るだけあざやかな活動を示してくれなければ、そして無産婦人の解放の爲に力づよく闘ふのでなくては、徒らに男子の黨の影にかくれる事になつて了ふ。フレーフレー無産婦人團體である。(亥)

×

かつぎヴェールを被つてゐるとばかり思つてゐたルーマニアの婦人が選擧權を得た早婚で民族が亡ぶと馬鹿にされてゐた印度に、満十四才満十八才でなければ結婚が許されぬといふ法律が出來た。日本には遲々として物にならぬ婦選案が政黨の政策棚に欠伸を噛んでゐる。が然し長野縣の婦選案我國婦選のトップを切つて芽出度パッス。(辰)

×

英國の婦選が云々される時必ず引合に出されるものに歐洲の大戰爭がある。曰く——我英國は婦人の力なくしてはあの五ケ年間に亘る大戰爭をとうていつゞけ得なかつたであらう——そこで戰爭のすんだ曉にその功勞に對する當然の褒賞として婦選が與へられたのだと宇頂天になる。これを又金科玉條とあがめて感激したのが例の緊縮政策にはだしでとび出した御連中だ。がこれはまことにお目出たき極みと言ふものだ。

冗談ぢやない。戰爭をつゞけさせた事なんか何が名譽なものか。只、あの戰爭が客觀的にみて婦人の意識を高めさせる事に役立つた點があると言ふのなら解る。同じ様に緊縮政策は日本の婦人達の正體をふるひ分ける事に役立つた。ともあれいゝ加減でもう「國家危急の秋に」などおだてられるお人よしから女も卒業してもよくはないだらうか。(午)

一ケ月時事　自十一月十六日　至十二月十五日

—中央政治—

◇**文相の更迭**　小橋文部大臣は十一月二十九日辭表を提出して免官となり、田中隆三氏が任命された。

　小橋氏の辭任は越後鐵道疑獄事件に關聯し疑惑を受けるに至つたため引責辭職をしたもので、疑獄事件は遂に現内閣まで及んだ譯である。

◇**豫算内示會の廢止**　豫算は、政府から、議會開會前に各黨派代表者に内示會といふものを開いて、說明することが慣例となつてゐたが、現内閣は十二月三日の閣議でこれを廢止することに決定した。そのかはり豫算綱要を各議員に配布する筈である。

◇**選擧革正調査會の組織**　安達内相以下各内務首腦者は十二月十三日午後内相官邸に於て會合し、選擧革正に關する基本對策並に應急對策について協議した。

　基本對策に對しては内閣直屬の選擧革正調査會を組織し、各方面から約四十名の委員をあげて、選擧法の改正、黨費の公開、國民の政治教育、治安警察法の改正等を協議する筈である。

　右選擧法の改正中には選擧權及被選擧權の項目中に婦人參政權及婦人被選擧權があげられてゐる。但し右調査會はまだ確定的のものではない。應急對策としては投票所の增加ポスターの一部復活等でこれは内務省令の改正によつて直に實施出來得るものである。

◇**衆議院議員黨派別**
昭和四年十二月十五日現在

政友	二三九
民政	一七一
無產	七(社民四・日本大衆二・勞農大衆一)
明政會	四
國民同志會	三
革新	一
無所屬	二二
欠員	一九
計	四六六(定員)

◇**社會民衆黨の分裂**　社會民衆黨はその第四回全國大會を十二月八日より十一日まで三日間芝協調會館で開催したが、その第三日目に於て大阪の全國同盟は遂に脫黨した。

　このいきさつは、總同盟大阪聯合會内に西尾氏等の右翼派と本山、鈴木氏等の左翼派とあつて相抗爭してゐたのに對し本年八月の總同盟大會は右翼派を援けて左翼派を除名してしまつた。そこで除名派は直に全國同盟を組織して結束したが兩方とも黨としては社會民衆黨に屬してゐるため、再び此度の社民黨の大會で問題となつたが、黨本部並に大會も總同盟同樣西尾氏等の右翼派をたすけた爲、遂に全國同盟の脫黨をみるに至つたのである。

　全國同盟は別に新黨を創立するらしいが其の勢は遂に總同盟派を凌いでゐるから、社會民衆黨特にその大阪支部にとつては可成の打擊で、次期總選擧に於ては大阪から選出されてゐる西尾末廣氏の當選は覺束ないと見られてゐる。

◇**第五十七議會と解散**　第五十七議會は愈々十二月二十三日召集され、兼て欠員中の議長の選擧を行ひ、二十六日陛下の御親臨の下に開院式が行はれる筈である。然し二十八日から來年一月二十日までは休會となるので、朝野兩黨の論戰の幕は議會再會の一月二十一日を期して行はれるであらう。從つて已定の事實とされてゐる解散も一月二十一日後と見ら

れてゐる。

――地方自治政治――

◇**全國市議選擧結果**　普選による最初の全國的市會議員の選擧は、本年一月から開始され、十一月迄に全國各地に亘り五十二市の選擧を終了した。この選擧は普選の自治政への反影として、また來るべき衆議院總選擧の歩哨戰として注目されてゐるが、その政黨別は次の通りである。

民政	七七四
政友	七二〇
無産	七四
中立	三三五
元新黨	三六
其他	二六

◇**東京市區會選擧結果**　東京市內十二區（三區は選擧なし）の初の普選による區會議員選擧は十一月二十八日に施行されたが、その棄權率は二割九分で昨年三月の市會選擧よりも遙に好成績であつた。

當選者の政黨別は民政一九八名、政友一三一名、中立一一四名で、無產は二一名革新二名であつた。

◇**東京市の新稅計劃**　極度の財政難に陷つてゐる東京市は、愈々新稅によつてその一部を償ふことに決定、その計劃を發表した。新稅としては左の如きものである。

金庫稅＝大小により一個年四圓から三十圓まで

扇風器稅＝一個につき一期參圓

新開発租地段別割＝年額坪十三錢より四十錢迄

軌道稅＝一メートル年三十錢

商品切手稅＝毎月發行高の千分の五

借地權取得稅＝借地權價格の百分の一五

雇婦稅＝女給・女中、舞踏人を使用するものより一人についていくらとして徵收

女給―一等地（京橋、新橋、銀座、淺草）一人について月七圓―二圓

二等地　芝、四谷、牛込、下谷、京橋日（本橋、神田、麴町、淺草の一部）

　　　　　五圓―一圓五十錢

三等地（芝、四谷、牛込、下谷の一部、麻布赤坂、小石川、本郷、下谷、本所、深川）

　　　　　四圓―一圓

女中―一等地（日本橋、京橋、赤坂、淺草）

　　　　　一人月　五　圓

二等地（一等地以外）一人月四圓

ダンサー一人につき月七圓

この新稅による收入見込總額は七十五萬二千八百圓である。但しこの新稅は目下市會の財政調査會に於て審議中でまだ確定的のものではない。

――經　濟――

◇**金解禁期日決定**　現內閣が唯一の政綱として來た金解禁は愈々明年一月十一日より實施することに十一月二十一日の閣議に於て決定直に陛下に奏上して後、大正六年に公布された金貨幣及金地金輸出取締に關する大藏省令廢止を公布した。これで多年の懸案が解決されたのであるが、實施後の經濟界の變動については相當に心配されてゐる。

◇**海外貿易の好調**　本年一月より十二月上旬迄に於ける

累計入超額　五千八百四十九萬圓

で、かくの如きことは過去十ケ年間にない好調振である。殖民地の入超額約一億圓とすれば總計一億五千萬圓ですむ譯で、昨年の入超額三億三千萬圓に比すれば約半分である。これだけの入超ならば別に貿易外の海外受取（運賃等）が一億五千萬圓程あるから、本年度の國際貸借は相殺されることになる。

婦選講座

金解禁について

市川房枝

一、金解禁の期日發表
二、金解禁期日の決定される迄
三、クレヂツト設定とは何か
四、金解禁の影響及これに對する對策

金解禁の期日發表

金の解禁は、濱口首相をして、現內閣組織の唯一の使命で、これがためには一身や黨の利益を犧牲にしてもかまはないとまでいはしめた程の大問題であつたが遂に其の時機が到來した。

政府は十一月二十一日午後緊急閣議を開いて決定し、直に參內陛下に奏上したる後、金の輸出取締に關する大藏省令を廢止すること、並にこれが實施は昭和五年一月十一日とすることを發表した。

日本が金の輸出を禁止したのは、大正六年九月十二日で、大藏省令第二十八號を以てされたのであつたが、その條文は左の如くなつてゐた。

『金貨幣又ハ金地金ヲ輸出セントスル者ハ大藏大臣ノ許可ヲ受クベシ、但シ外國ニ旅行スル者、金貨幣百圓未滿ヲ携帶スル場合ハ此ノ限リニアラズ

前項ノ規定ニ違反スルモノハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

地金トシテ販賣シ又ハ使用スル目的ヲ以テ金貨幣ヲ蒐集鑄潰又ハ毀傷シタル者ノ罪亦前項ニ同ジ』

この省令の文面では許可を受くれば輸出が出來るのであるが、然し大藏省は絕對不許可主義をとつてゐたから、禁止と異る所がなかつた。

金の輸出禁止は日本だけでなく、歐洲大戰當時には、英米を初め殆ど世界各國が行つたのであつた。

それは交戰國に於ては軍需品、食糧品等の輸入が增加するのは當然で、從つてそれ等の代金支拂のためにおびたゞしい金貨幣が流出することになるので金の輸出を禁止するに至つた。米國並に中立國に於ては輸入超過ではなく、むしろ輸出超過の傾向を示してゐたが、交戰國が金の輸出を禁止してゐるのに自分達の國だけ許しておけば、矢張金が流出してしまふので、これまた禁止するにいたつた。日本の金輸出禁止にいたつた事情は、米國と殆ど同樣で、米國の禁止に追從して行つた次第であつた。

然し現在に於てはポルトガル、メキシコ等の小弱國を除いては、全部金の解禁を行つた。日本も前に揭げた省令の廢止によつてやつと一等國としての體面を保つことが出來るやうになつた譯である。

金解禁期日の決定される迄

日本での金解禁問題は前から始終問題とされてゐたが、歴代内閣とも遂にこれをなし得なかつた。現内閣にいたつて初めてこれを第一の重要政策となし、これが準備のため、財政の緊縮、國債の整理國際貸借の改善、消費の節約等の政策をたてゝ努力し初めた。

財政の緊縮としては議會を通過した昭和四年度の實行豫算の中から、一般特別兩會計を通じて一億四千七百餘萬圓を節約した所謂實行豫算をつくつたし、已定の公債發行額を減少すると共に、一般會計では新規公債を發行せず、獨逸より受取る賠償金も減債基金に繰り入れることにした。

國際貸借改善としては、從來我國は慢性的入超國と稱せられる程、輸入超過を續て來たが出來るだけ之を平衡せしめる事につとめ、本年の一月から十一月の中旬までの輸入超過七千萬圓で、前年度に比較すると、約一億圓も減少するといつた好狀態になつて來た。その上、政府の鐘太鼓入の消費節約の宣傳も大分きいて六月末には百圓に對し四十三弗四分ノ三に過ぎなかつた爲替が、十一月十八日には四十八弗八分の五にまで騰つて來た。

それに在外正貨も八千萬圓位しかなかつたものが、三億圓程出來たし、米國の金利も安くなつたので、金の解禁を行つても日本の金貨が外國にどん〳〵出て行く心配が少くなつた。又輸入が增してその代金を外國へ支拂ふにしても、在外正貨の外今少し準備があれば大して心配のない所まで來た。

そこで政府は前號に記したやうに、津島財務官を米國に派遣し、米國財團から借入金の交渉をせしめるにいたつた。政府は初め、橫濱正金銀行をして、米國の財團から、政府所有の公債等を擔保に入れて二億圓程度の借入をなさしむる積りであつたが、これはうまく行かず、結局橫濱正金銀行をして一億圓のクレヂットを設定せしめることになつた。

政府が金解禁の發表をしたのは、このクレヂット設定の調印が出來たとの電報を受取つた直後であつた。

實施期を即時とせず一月十一日と決定したのは準備期間をおいた他、現在の爲替相場からみて、其頃までには平價に近づくであらうとの見當と、今一つは議會解散前といふことで選ばれたらしい。

クレヂツト設定とは何か

金解禁に重要な役割をつとめたクレヂツトは米國のモルガン商會を首班とするニユーヨーク銀行團の間で二千五百萬弗英國のウエストミンスター銀行を首班とするロンドン銀行團の間で五百萬磅、合

計一億圓のクレヂットを一ケ年間設定する契約である。

所でそのクレヂット設定とは何であるかといふと、これは信用設定といはれてゐるもので、借入金ではなく、一種の借入の豫約とでもいふべきものである。

借入金なれば公債とか手形とか借用證文とかを出し、契約と同時に一時にそれだけの金を受取つて仕舞ふのであるが、クレヂットは一時に貰はず、必要なる場合に契約の金高迄契約の期間隨時使ふことが出來る約束である。それで利息も契約高に對して極く僅かの利息を拂ひ、他は費つただけの金額に對して一定の利息を拂へばいゝのである。

利息は發表されないが、契約高に對しては一分、使用高に對しては六分の利率らしい。

金解禁の影響とその對策

愈々金の解禁を行つた場合、各方面にどんな影響を及ぼすであらうかについては、各方面で豫想されてゐるが、政府並に實業家方面では、甚だしい影響はあるまいと見てゐるやうである。が然し全然その影響を受けないではすむまい。

金の解禁による第一の直接の影響は、爲替が平價に復する——即圓の價が騰つて現在百圓に對して米貨四十八弗位のものが、四十九弗乃至五十弗はそれに近い高になる事である。

この事は今迄一圓でカーネーションミルクの小罐が六つ買へたのが、七つ買るといつた樣に、外國品が安く買へる結果になるので、輸入が從來よりも多くなり從つてその代金として金貨の流出も増すことになり易い。

それに金の解禁の結果は海外への投資が自由に出來る事になるので、此方面でも金の流出が行はれる心配がある。それ等も三億圓の在外正價で支拂へる程度ならいゝが、それを超すと國内の正貨がどし／＼流出することになる。

その結果は通貨の收縮となつて、一般の物價を引下げはするが、然し一方國内の産業を萎微させ賃銀の低下、失業の増加といふ大問題を、惹起することになり易い。

こうした種々なる影響に對しては、政府としては、輸出を盛にし輸入を抑制するため、産業の振興、國産の奬勵、産業の合理化、中流以下の商工業者に對する金融機關の整備、鐵道運賃の値下、海外投資の抑制等種々なる對策を講じやうとしてゐるが、然しその結果は、愈々解禁を實施してみた曉でなければわからない。

然し何れにせよ、この國家的大事業をなし遂げたことは、民政黨内閣のお手柄といはなくてはなるまい。

字句解説

▼平價（へいか）——各國の貨幣中に含まれてゐる純金の分量の比率で、日本の圓と米國の弗とを比較すると日本の一圓が米國の四十九弗八四六に當つてゐる。日本の對米爲替の平價が百圓に對して四十九弗八四六といふのは、この計算から來てゐる。

日米の貨幣が自由に交換出來る場合にはいつも殆どこの割合であるが日本が金貨の輸出を禁止してゐる樣な場合には、これがその時々の日本の經濟狀態によつて變動する。大正十三年の十月には日本百圓が米貨三十八弗二分の一まで下つたことがある。この場合には外國品は平價に比し二割二分も高く買はねばならなかつたのである。

▼平價切下（へいかきりさげ）——日本では法律で金一匁を五圓と規定されてゐるが、これを例へば十分の一の一分を五圓と規定し直すか、乃至は從來の紙幣の五十圓を以て五圓金貨と兌換することを規定するのをいふ。これは德川時代に於て財政困難の場合に屢々行はれた方法で、此度の金解禁に際しても幾何か切下を行ふべしと主張した人があつた。露西亞、獨逸、佛蘭西は金解禁に際し何れも切下げを行つたのであつたが、若し此方法をとれば金持は損をすることになる。

若し平價が切下げられゝば海外の爲替の平價も當然下つて來る。

▼國際貸借——國際間に於ける貿易の結果として外國から受取るべき金、或は外國へ支拂ふべき金がある。貿易以外にも外國から受取る金（運賃、旅行、移民の送金）或は外國へ支拂ふ金（外債の利子、旅行等）がある。その收支を綜合對照したものを國際貸借といつてゐる。國際貸借が惡いといふのは其の差引勘定が支拂超過になる場合をいふので、その場合にはそれだけ日本の貨幣がへることになる。

歐洲戰爭當時には輸出が多くなつた爲めこの國際貸借は極めて良好で戰時四ケ年に受取勘定が二十八億圓にも上つた。然し戰爭後はこの傾向は逆轉して輸入超過となり、大正八年から昭和三年までの十年間に、實に累計四十二億圓の入超を示し、國際貸借は著しく不良になつた。

▼在外正貨（ざいがいせいか）——在外正貨とは讀んで字の如く國外にある我國の貨幣の事である。これは現金若しくは債券等で政府及日本銀行がニューヨーク、ロンドンの銀行に預け入れ、國際貸借の支拂超過額をこれによつて支拂つてゐる。

大正三年末に於ける在外正貨は二億圓に過ぎなかつたが、大正十年には十億圓に上つた。然しその後に於ける入超の爲めに漸次減少し、最近では在外正貨は殆どなくなつてゐた。それを今度金解禁に要する爲め三億圓程用意したのであつた。

◇本紙の表紙◇

本紙の表紙は美術院の會員で、進の彫刻家として名のある木村五郎氏の筆になるものです。

前婦選の題字も婦選のマークも同氏の手になつたもので、婦選にとつてはかくれたる熱心な後援者です。

海外時事

◇最近支那時局

國民政府や國民黨を改組するのを目的とする所謂反蔣聯盟の運動は去秋以來益々擴大して、蔣介石討伐の猛運動が熾んになり、遂に蔣氏下野說が流布されたり、又してもの支那內亂が要えられたりしました。これは、蔣氏がその統一主義から出立して企てた統一策が個々地方に群雄割據して勢力を擅にしてゐる閻錫山、馮玉祥、張學良或は廣西派等軍人や政治家の反感を招いた爲で、恰も我國明治維新の際、廢藩置縣が非常に困難であつたやうなものであります。否それ以上に支那の事情では困難であります。我國では勤王の精神に動かされて割合に容易に片附いたのではあるが、支那ではさうはゆかない。去る八月の第二次編遣會議で約百六十萬の兵員を八十萬に減じ、更に馮、閻、張氏等の兵を十萬程度に激減して中央集權に努めたことは蔣氏の統一策からは已むを得ないことゝは言へ、減された側から見れば、非常な犠牲で、個人的には蔣氏の勢力增進といふ結果になるところから反蔣熱を煽つたのも無理ならぬことでした。

然し、暗雲低迷して、けふ明日にも倒れさうに傳えられた南京政府にとつて、最近の時局は益々順調に傾き、一時はさしもに多忙を極めた南京政府の要人達も小閑を得た有様であります。形勢が斯く順調になつたのは、とりもなほさず、蔣氏が曾て辭意を懷いたことなく、終始一貫、確固たる態度を持してゐたこと、及び、兎角の噂はされ乍らも、地方の最大勢力である山西に在つて閻錫山氏が變らず現政府を擁護したからだと言へませう。現在では唐生智軍は不利となり、廣東方面も武裝解除に運び、南京政府は有利な立場に在りますが、然し、何といつても支那の時局は推斷が出來ず、それだけ樂觀も許されないわけで、我が隣邦の統一事業は今後なほ幾多の危險や困難に遭遇するものと見なければなりませぬ。

◇露支豫備交渉

東支鐵道管理問題を中心として、半歳にわたり、米國に氣を揉ませ、ドイツを煩はし、日本にも相當迷惑をかけて、列國の視聽をそばだてた露支間の紛争も、漸く圓滿解決の幕を下す段取となりました。

國民政府は八月末ドイツ政府を仲介とする露支共同宣言案が露國側の拒絶によつて失敗に終るや張學良氏の單獨交渉運動を默過せざるを得ない狀態でありましたが、愈々シマノフスキー蔡運升兩氏は十二月一日からニコリスク・ウスリイスクで露奉豫備交渉會議を開始し、其結果速かに意見の一致を見ましたがその條件の主なるものとしては支那側が事件の責任者として東鐵理事長呂榮寰氏を罷免する代りに、露國側は管理局長エムシヤノフ、副管理局長エイスモント兩氏の復任を撤回するといふ交換的讓步が出來ました。正式の調印はいづれ一月上旬に取り行はるゝ運びとなる筈であります。

◇米國の國際裁判所加入

一九二三年以來懸案となつてゐた米國のヘーグ國際裁判所加入案は九月の國際聯盟總會で可決してゐたのですが、愈々十二月九日國際裁判所加入條約に調印することゝなりました。國際間の行動の基準を決定するため國際司法裁判機關が益々必要となつてゐる今日、米國が、國際聯盟に接近して來た一つの現はれとしての今回の裁判所加入は、世界平和のため喜ぶべきことであります。(MGS)

婦人界展望

今月の婦人界展望は、十二月といふ婦人には家庭の事の忙しい月であつた爲か、殆どこれと目ぼしい進出ぶりもないのですがそれでゐて又、何かある見えない勢がそれぞれの團體を動かしつゝある氣配も感ぜられるので、丁度昭和五年度の初めに、それら個々の團體について總括的に報導しておく事にします。

◇

東京聯合婦人會、

震災直後の焦土の中から生れ出た都下卅餘團體の聯合體として、十一月十九日、第七回の誕生記念會が行はれ、その席上に於て、この年度に於ける同會の力を注いだ事業の一であつた、婦人常識講座の講習生諸孃によつて、聯枝會なる新團體が產み出されました。

この會の目的は、母體である聯合婦人會の目的を手足となつて果すのにあるとの事ですが、其後會員達の興味はまづ婦選に向けられてゐるらしく、新春早々その研究會も開かれやうとしてゐます。

聯合會もこゝ二三年幹部も各團體の代表委員も固定した形なので、稍膠着の氣味もありますが、何分一時は大日本聯合婦人會の組織を全國に提唱する勢にあつた會とて新年度如何なる進出ぶりが見られるかは豫想の他です。

然し乍ら聯合會の本質的活動は寧ろ、聯合體としてのそれで、餘りに個々の仕事に手を染めるは過つた道だと見る人々も尠くないから、本質的活動に至る迄には幾多の

婦人界片々

◇

昭和五年、一九三〇年、この年に日本婦人はどこまで歩くか——。昭和四年は、暮の暮まで働いた、働いた。市電爭議に、美事な結束ぶりを示した圓太郎の女車掌さん。

◇

堀切市長新增稅案中の雇婦稅には女給さん達、「惡法を葬れ」と師走の街に絶叫。一方帝劇の女優さんたちは、小屋共松竹に身賣りの悲劇。

◇

野方町にはまた婦人許りの家賃値下げ運動現はる。本氣で臺所を守るもの、臺所を脅すものを敵として闘ふに至るは當然。

◇

生活戰線の前線にたつ新職業婦人は、婦人宣傳員、東京府職業紹介所に登錄されてある者三百名、年齢は十七歲から三十才、半數は已婚婦人

清算を要するでせう。

とに角十二月十八日には「平和の使者を送るの會」を催して林、ガントレット二氏の送別講演會を行ひました。

◇

至誠會は、東京女子醫專の同窓會團體ですが、かねて府下千歳村祖師ケ谷に建築中であつた至誠會病院分院が竣工、十二月廿三日開院式を擧行しました。

この分院は診察無料、藥價一日十五錢、中產以下の家庭に奉仕し、特にその結核患者の療養に盡す目的で、已に設備も完成されてゐます。

女醫の團體が、自己の職業的立場に立脚して、こうした社會事業に進出する事は當然の事とはいへ、本質的活動のなされる事は欣ばしい事であります。

◇

矯風會は、故矢島楫子女史が創立して以來正に四十四年の記念日が十二月六日に相當したので、軍縮會議に赴く林、ガントレット二氏の送別を兼ねた盛大な記念會を擧行、二氏は廿日出帆の淺間丸で無事出發の途に上りました。

◇

ガントレット夫人のまづ赴く米國戰爭原因及防止研究會は、全く米國々内のみのもので、委員長は、キャット夫人、每年會議を行つてゐますが、今回の會議には日本の他、英、獨、佛からも代表が參加するさうで、お互に種々討議研究するのが目的であるとの事です。

ガントレット夫人の出立に際し、婦選獲得同盟では、會議の成功を祈り、日本婦人も國際平和の爲に婦選を獲たいと努力してゐる旨のメッセージを托しました。

◇

日本女子大學同窓會の櫻楓會は、さきに政府の緊縮政策に對する婦人の援助を求めるや、進んでこれに應じ、全國の會員に消

朝八時から午後五時迄指定地點で丹念にビラをまいて日給平均一圓五十錢。一日のまきビラ數四千枚、人夫の二倍以上の能率。

◇

歌人與謝野晶子夫人五十の誕辰を祝つて友人知己敎へ子五百、賀宴を張る。美し。しかも歌人晶子女史、また婦人運動を捲くるや大。まことに當代の偉大なる女性といふべし。

◇

日本代表一行中の紅一點財部軍縮全權夫人、「アメリカに於て、禁酒法に對する問に答へて曰く、「私はまだそんな問題を考へた事がないが、禁酒法は案外に詰らぬものではないかと思はれます。」まさかこも冠り先送りの若槻全權の手前を憚つた譯でもあるまいとすれば肩書なしでも重要な役割とみられた夫人の言としてはこの日本婦人らしい謙遜ぶり、ちと輕卒に過ぎまいか。

◇

英國には人の子の母となれる術を

費節約運動を起して働きましたが、議會季節の切迫に伴ひ、今度は、同會內の兒童問題研究會が主となり、滿廿五歲禁酒法案通過の爲、積極的支持を爲すこととなつて、出野柳子氏等が中心となり、在京代議士訪問など實際運動に入りました。櫻楓會の婦選運動進出も屢々傳へられましたが、具體的事實は見られません。

◇

東京府女子師範同窓會では、この冬季休暇を利用し、小學女敎員第一回海外視察團を組織し、南支地方の敎育、並に社會運動の實狀を視察する事になり、團長は木內キヤウ子氏、東京の他埼玉、長野からも參加しました。旅費は各自百圓を準備し會からは一人當り五十圓を補助するので、この企ては眞に時宜に適した好事業で、これが全國女敎員へのよき刺戟となると信ぜられます。

◇

第五十六議會に對する運動の後休止狀態を續けてゐた婦選獲得共同委員會は、十二月十八日久し振の會合を開いて協議した結果三月九日の無產婦人同盟の脫退、十二月十九日の社會民衆婦人同盟の脫會によつて無產婦人團體側を失つた爲、創立の意義を缺くとなし解散に決しました。

同會は、昭和三年三月十二日、第五十五特別議會に對する議會運動の爲に婦選獲得同盟提唱の下に、日本婦人參政權協會、婦人參政同盟、關東婦人同盟、社會民衆婦人同盟、勞働婦人聯盟、全國婦人同盟參加して、組織したもので、其後全關西婦人聯合會を加へて婦選團體の共同戰線を完全に張り、同議會運動終了後改めて永續させる事となつたのでありました。

然し乍ら、關東婦人同盟は自體が解散した爲自然脫退し、無產婦人同盟は第五十六議會運動後立場の相異と、時間人手の關係から退き、最後に社民同盟は、十二月八日

（五一頁へ續く）

數へるマザアクラフト、トレイニング、ソサイティがある。そこに學んだ眞鳥智茂子女史が最近歸つた。

◇

底知れぬ不景氣の彌冬年の暮、緊縮內閣の安達內相夫人、井上藏相、渡邊法相、田中文相の夫人達と協議して手近な貧しい人々へ心ばかりを送らうといふ企てに、夫君達も贊成して年末の御下賜金の一部を割いて渡せば、忽ち麻布區內百廿五戶四百人へのし餠が配られた。所でこういふ出來事は、明治十八年內閣といふものが日本に出來て以來初めての出來事であるさうな。

◇

さてかういふ結構な區域にすまぬ本所深川の小學校では、この深刻な生活難に四分の一の兒童は空辨當、同國の貧困兒童は八萬にも上る。もしこの大臣婦人達、婦選が手にあつたら八萬に正月餠も食べさせられたらうといふ事を已に御承知かどうか。



（四谷犬養氏邸に於ける一行）

◇婦選獲得同盟創立五周年の記念會

舊冬十二月十三日は婦選獲得同盟の創立滿五周年記念日に當つたので、これを出來るだけ意義あらしめる爲に、十三、四の兩日に亘つて記念會の催しを行つた

◇

記念會第一日。

創立五週の當日を記念するために各地方から代表の出京を乞ひ、幹部これを伴ふて大臣、政黨本部などの訪問を行ふ。まづ第一は

犬養政友總裁邸、約束の午前十一時一同打揃ひ到着、星島代議士の出迎を受け明るい應接室で和服姿の犬養總裁と令息健氏とで卓を圍む。參政權には相當積極的な考へを持つてゐる犬養氏は三十分位も話される。皆からも各々希望をのべ、寫眞を撮つて快よい會見を終り、總裁は玄關まで私共を見送られた。

午後一時內務大臣官邸にゆき外出中の安達內相の歸邸を待つ間、齋藤政務次官と內ケ崎參與官とに面會する。やがて內相歸邸、まづ一緒に寫眞を撮してゆるりと話された。緊縮運動は婦人の協力により良き成績を上げ得たと言はれるあとから參政權は貴女方の頭が白髪になる時分ですかねとの言葉を聞かされる。好意は持たれてゐても責任上積極的には出來かねるらしい內相である。

次は首相官邸、首相は多忙にて面會不可能、直ちに戸田秘書官を介してモダン官邸見物に變る。閣議室では皆々大臣になり澄す。

三時過に政友會本部到着。政務調査會議室で森幹事長、山崎政務調査會長、山口總務、田子、今井、松村、星島の諸代議士と會ふ森幹事長の皆々への印象はあまりに政黨的と云ふのか荒い氣分を感じさせた。

四時には民政黨本部へゆき、山桝幹事の出迎へをうけて左の諸氏に面談す。

富田幹事長、小山政務調査會長、一宮情報部長、加藤、三浦の諸代議士。こゝでは紅茶の馳走になる。小山政務調査會長は更

めて選舉改正委員會に來て私共の希望をのべられるようにとの注意があり宮川幹事長は所謂承り式であつた。
　かくて地方代表及び本部の幹部十五名が打ち揃ひてのこの諸訪問は充分に示威運動の効果を擧げえたのであつた。

（奧原静）

◇

記念日第二日。

　十二月十四日午後一時から神田駿河臺、基督教女子青年會の講堂に内輪の者の心の喜を盛つた記念會が開かれた。
　まづ東京市の水道實寫『われらの水』三巻の映寫が濟むと、渡邊とめ子氏の司會で最初に、總務理事久布白落實氏が壇上に立つて、五年前大隈會館に對議會有志婦人懇談會開催が動機となつて、婦人の共同戰線たる婦人參政權獲得期成同盟會が組織され實際運動に、又それに伴ふ資金募集の運動に常に倦くなき戰ひを續けて、今日の狀態に至るまでの感慨を語つて會衆一同を激勵する。
　續いて議會委員長奧原静氏は、前日の政府並に政黨幹部訪問及過般來の對議會の潜行運動を縱横から報告し、河崎夏子氏は獨特の諧謔味たつぷりの懷古談に、今更の如く、同志等の創立當時の、活氣に充ちたむしろ涙ぐましい程の奮闘の當時を偲ばせる。
　更に會務理事市川房枝氏の報告は、河崎氏とは別の方面から、即ち、事務所の借用料や事務所費などが五十圓位で濟まされた創立後間もなくの貧乏時代から、年額一萬圓近くの費用を要する現在に至つた喜ばしい狀態を語つて一同をうなづかせる。
　次は地方代表の挨拶として、記念會出席のためわざ〳〵上京した、新設金澤支部の米山久子氏は金澤地方の因循な風俗習慣と傳統に包まれて生くる婦人達の事を實例を擧げて雄辯に語り、聽衆に笑ひを爆發させながら巧みに婦選運動の必要を說く。
　名古屋の小尾ふさ氏は大いに東都婦人の覺醒を促して、意氣昂然たるものあり。長野の小笠原嘉子氏は長野縣會が十二月十二日夜深更、滿場一致で婦人參政權に關する建議案を可決するにいたつた經緯の報告、並に婦選問題がとり上げられるに至つた動機は、廢娼運動の必然的な結果からであると述べて一同の心を動かす。

◇

　次いで、協議にうつり、金子幹事から政治教育の現狀を語り出席者からそれ〳〵方法についての意見の開陳があつた。今一つの協議題財務は時間の關係上、夜の會合に讓り、婦選同盟考案の福引に一同樂しみ合つて、五時半散會。夜は六時より同會食堂に有志晩餐會を開き、星島、松山、田子の諸代議士地方代表等を交へて、談笑の中に心おのづから來るべき議會に備ふるところあり。
　この日、曇り勝ちの空は夕刻より細雨となりしも、會せし九十餘名の會員會友一同の心は、又新らたに結ばれて、我等の望み達する日まで大いにやりませう。協力、努力、團結した力の礫を以て凡ゆる障害や困難と闘ひませうとの意氣を强めたのであつた。

（宮川靜枝）

長野縣會の婦選案

金子しげり

長野縣會が全國に率先して婦選建議案を上程し且つこれを可決した事は、確かに昭和四年の婦選運動の最後の頁を飾るものであらう。

さてそれは如何にして提出され、如何にして可決されたか。婦選建議案の提出者は政友縣議小野秀一、瀧澤一郎、熊谷村司、井出今朝平の四氏、賛成者は山田瀧太郎氏外廿名で六日提出された。その意見書には、婦選が已に世界に於て試驗濟みなる事を述べた後で

「近年中央政界の實情を査察するに綱紀の肅正は杳として地を拂ひ政黨者流の角逐は政權を中心として徒らに紛爭を之事とし無味乾燥殺風景を極めたりと評するも過言にあらざるべし、國民が要望する所のものは政權の爭奪そのものにもあらず又かれら選良をして唯單に高名を博せしむるにもあらず、恐れ多くも上に萬世一系の聖天子を奉戴し國本を確立し國民生活を安定せしめて以て文化生活を享樂するにありとす。この秋に當り我國の一新生面を開き一沫の新味を加へ殺伐に代ふるに靄々たる和氣を以て紛々擾々

廢娼デー雜感

羽中田愛子

場所は長野縣上田市時は昭和四年十一月十八日上田敎會側の都合でこゝのみは一日おくれてゐるけれど、精神に變りはない「全國一齊に廢娼デー」だ起床してみれば庭に散り敷く落葉にはわびしい秋雨の音、先づ出鼻をくぢかれた形、髮をとかし乍らふすまごしに隣室の友と語る。

「どうでせうねエ」

「さあ困りましたね」

「降ればおやすみがつぶれないですむのだけど」

「折角のお休のつぶれるのは惜しいけれど街頭に立てば五萬の同性に奉仕できるわけだわね」

十時近くなると雨も小止みになり廓淸會支部長H老人は兎も角もやらうと仰る。豫定の十時定めの部處へつく、今日の署名所は三ケ所、上田驛前、救世軍少隊前、郵便局。局前は私を入れると男女五人。先夜の委員會に主張したゝめ以來さん〴〵うらまれた廢娼デーのタスキ目をつぶつてかける。局の窓からは澤山顏が出る。雨は顏にかゝるし、人通りも少いし不景氣の事おびたゞしい。一時間後私は程近い市役所の門をくゞる。上京中とかで市長さんはお留守。學務課長は市役所内で署名をとる事を許可してくれたけれども御自身は署名なさらぬ。公職にある人は勿論、私共と立場が違ふだらうけれど、事、人道に關する問題であつてみれば、身をもつて範を示してよいのではなからうか。それ程日本の官吏は不自由なのであらうか。兎に角すなほに引さがつて市役所内を一巡する。ムッチリ顏のお役人もニヤリ〳〵しながら書いてくれる。三人丈どうしても署名しない人がある。遊廓に關する事務

に寛ふするに温良なる調和を以てする所以のものは女子参政権をおいて他に求むべきにあらず。(下略)

と述べられてある。この案は縣會を通過の上は府縣制第四十四條により縣會議長の名で安達内相に建議されるものだが、この理由が内相自身、選擧革正調査會に婦選問題を含めた理由と合致してゐる事は偶然だらうが面白い。が、更に興味あるのは婦選案が生れ來つた徑路である。

長野縣に於ける廢娼運動は、矯風會廓清會聯合運動が分縣方針に出でゝより猛烈に進み建議案は數年來縣會に提出され來つたがまだものになる日は遠く見える。本年の如き縣下の請願書は六萬に達し乍ら、案の提出は相當困難であり、通過の見込はなしといふ狀態である。玆でこの提出の中心人物たる小野縣議は突如婦選案に手を染めんとしたのである。結果はよかつた。廢娼の贊成者十六名に對し此れは廿六名を得た。縣會は四十四の定員である。通過は疑ひなしと傳へられた。

十二月十日、自分は長野縣會を傍聽した。一は親しく該案の上程ぶりを見る爲、一は同地の奮鬪を犒はんが爲。

當日は矯風會必死の動員で五十餘名の婦人が傍聽し、遂に臨時に婦人傍聽席が設けられさへした。案は廢娼並に私娼取

をとりあつかつてゐると云ふ理由で。次に商工會議所に行く。

「別に說明されなくてもよくわかつてゐますよ、――あさつてはエビス講で花火をあげますがその寄附はみな遊廓から出るのです。今年だけでなく今後も遊廓のある限りもらひに行くのですから、私共としては署名できません。」

「お隣りのお方はいかゞでございます。」

「みんなこゝにゐるものは同じですよ、そんな事したつてだめですよ。梨のつぶてだ」

梨のつぶてならぬ憤怒のかたまりをグッとのみこむ。月かげなき空に美しとみとれる花火、あれこそかれんな姉妹たちの血又淚。あゝ。

銀行まはりをしてゐる中にもうサイレンがなり出す。

「女つてどうしてあゝわからないでせうね、自分の事だけよければ世界がひつくりかへたつてかまはないと云ふ態度ね」

「口惜しいやうね、一ツは今まで女に考へることを禁じてゐたからだと思ふわ、すべて忍從する女が理想的とされてゐたんですもの」

「おばあさんに一生懸命說明してから住所姓名をきくと夫か息子の名を云ひますね、夫に代表され息子のかげにかくれてゐた習慣が無意識に川るのでせうね」

「さう／＼、さつきね、ある商店へ行つて店先の主人に署名して下さいと云つたら『まあ、み合せです』と云ふぢやあないの、それで側のおかみさんと娘さんにかいて下さいと云つたら、主人公曰く『それは駄目です。――家のものは皆私の自由です！』だつて。あなたの奥さんも娘さんも一個の人格者ぢやあないですか――つて云ひかへしてやり度

締に關する建議案と一括上程され、廢娼案のみ提出者小野縣議の詳細を極めた説明の後田中邦治氏(民政)の贊成演説の後に七名の委員附託となつて散會し、問題の婦選案に對しては一言半句の説明も抗辯も聞かれずして了つた。七名の顔ぶれにより婦選は可、廢娼は非と斷ぜられた。が、七名の委員が散會直後より十二日の本會議當日まで、婦選廢娼の運動者の猛烈な運動を受けた事は勿論である。

十二日は縣會の最終日である。而して同夜既に零時を超ゆる事數十分にして、婦選案は滿場一致を以て長野縣會を通過した。廢娼に敗れ、婦選に勝ち、意味深き泪に閉ざされた長野の同志！

なぜ廢娼は敗れたか、即ち議員が直接の利害を受けるからである。なぜ、婦選が勝つたか、まだ議員が婦選の正體を熟知しないからである。婦人が政治的自由を獲て起つ時、廢娼は問題でない。婦選が婦人解放の捷徑である所以は正に玆にある。

固より議案は法の改廢に直接の効力はない。が然しこの地方的輿論の前に内相は耳を閉ざす事は出來ない、而して全國の婦人はこの事實の前に盲目である事は許されない。

長野の勝利を生かし、廢娼の根を返すべく、全國の婦選軍は今や徐ろに動員されつゝある事を同志よ信じやうではないか。

い位でした。」

「ほんとに早く參政權を獲得しなくてはだめね、男や女の考へ方を改造するつて云ふ點に於ても實に意義がある」

食堂は廢娼並に婦選座談會の觀がある。食後は人通りもしげく働きがひのあるやうな感じがする。夢中で自轉車をとめたら知人だつたり、同じ人に幾度も云つて怒られたり、漫畫の材料も少くない。四時には豫定の請願書はすつかり署名されてしまふ。

二度目の廢娼デーを終へて思はされる事は少くない。請願書に對して「そんな事をしたつてだめですよ」と笑ふ人、幻のない人である。人生のすべてに對してあきらめをもつ人、進化の信じられぬ人である。から云ふ人によつては社會はその眞も善も美もあたへられない。

「御苦勞樣」と云ひたげに元氣よく署名する人、かれらは競技場に於ける應援者である。はなやかな選手の勝利はそのかげの人の意氣に左右される。スポーツにあれ、社會運動にあれ、第一線に立つ者は少い。又立ち得る者は少い。しかしその人々をして思ひきり走らせ得る力は萬人にある。殊に婦人に團結力なきため、團體的訓練なきため、第一線に立つ婦人鬪士の苦しみは思ひやるだにいた〳〵しい。小さい自分をすてゝ大きな夢の前にすべての婦人が手をにぎり得る日、ことに家庭婦人と職業婦人の提携する時全女性のひとみから苦い涙はぬぐはれ、ほがらかなあしたのかゞやきにかゞやく事であらう。

最後に一番殘念なのは婦人に社會的關心のない事、搖籃を動かす手は世界を動かす。もつと自信をもち全人類に母心をささげ度い。うるほひなき世界、鬪爭に日も夜もたらぬ社會を家庭化したい。

教育、女子の教育、そして生ける宗教、この二つにして一、一にして二なるものゝ必要を今更の如く敎へてくれた廢娼デーよ。再びめぐつて來てくれるな。來る日に於ては純潔デーなる名の下に私共は戰ひ度いのだ。この縣會と帝國議會に於て正義が勝利を得るやうに。

社會民衆黨第四回大會をみる

兒玉勝子

去る十二月八、九、十の三日間芝の協調會館で社會民衆黨の第四回大會が開かれた。

同じ政黨にしても、政友會や民政黨と違つて無産黨だと言つてゐるだけあつて、五十六の議案の中婦人に關するものもかなり見えてゐたし、それ等がどんな風に扱はれるだらうかと言ふ事が興味を引いたので二日目即ち九日の午後傍聽に出かけた。

丁度いろ〳〵のゴタツキのためのびてゐた議案の審議がはじめられる所だつた。

婦人關係の主なものでは「産兒制限公認要求の件」「婦人政治結社自由要求の件」「母子保護法制定要求の件」「公娼制度撤廢促進に關する件」その他に選擧法改正要求の件といふ中に婦人參政權の附與があり、地方自治制改革に關する件の中に婦選の確認即婦人公民權の問題が取扱はれてゐた。

何しろのこり少くなつた時間の中で五十に余る議案を片づけなければならないので、まるで跣足の樣に、それも比較的重要なものが取り上げられて行くので中々婦人關係のものは出て來ない。今度こそ今度こそ出るだらか、と引づられて忙しい中をとう〳〵五時頃までゐたけれど結局、母子保護法と、公民權とその二つしか聽く事が出來なかつた。

それも公民權の方はそれ一つが獨立した議案ではなくて、地方官の民選とか、保證金撤廢とか、不在投票權の要求とか言ふものと一まとめにして「地方自治制改革に關する件」として上程されたので「中央委員會にて成案なし、議會提出その他運動を通じて貫徹を期することと」とごくあつさりと可決されたにすぎなかつた。母子保護法の方は獨立した議案であつただけに少しはつきりしてゐた。しかし、實行方法として「新中央執行委員會は直ちに法文を作成して來五十七議會に提出すべきこと右希望を附して、新中央執行委員會に一任す」と、いく分公民權より具體的ではあるものゝ單に「希望を附して一任」するのでは心細い。

その他の婦人問題がどうなつたか、三日目は行けなかつたので、今知る事が出來ないがたとへばそれ等が全部とりあげられたとしてもさう大して期待したり、お目出たく喜んでばかりはゐられない。社會民衆黨自身から見ればこんなものよりはるかに人氣とりとしては有効なものが澤山あるのだから。結局、日和見的に、追從的に扱はれるにすぎないのはむしろ當然の事だ。

が、これがもし私達に結社權や、參政權が獲得されてゐたとしたらどうだらう！勿論正式な黨員としても、私達自身の問題を積極的にとり上げる事も又とり上げさせる事も出來るし、同じ日和見政策でも、もつと活潑にせざるを得ないだらう。

この日の主なものゝ一つに「軍制改革に關する件」と言ふのがあつた。提出理由說明中ら「國防の本義に基づく軍備の必要は之を是認せざるを得ない」と言ふのもいゝ加減ごまかし物だとは思ふが、更に「一旦緩急あつた曉には何等かの方法でそれにそなへる事は出來るのだから……」と言ふ事を前提として軍縮を說いてゐるのだから驚いた。それが又異議なく可決になつてゐるのだから、何だか馬鹿々々しくて嫌になつてしまつた。

その他いろ〳〵な議案は皆可決され、大抵のものが本部―新中央執行委員會―に一任された。今後のこの新中央執行委員會の活動こそ興味を以て眺むべきであらう。

甲州生活

——農繁期托兒所に働く——

平田のぶ

▽共同風呂

『先づお風呂へ』

とい氏にすゝめられて共同湯へ入る。一坪ばかりの小さい湯槽の中には、若いのやら年老やら子供やらで、まるで芋の子を洗ふやうだ。壁にはもう『今夜七時から平田女史講演』と貼紙がしてある。

『東京から來た先生だよ』

と誰かゞいふと

『そうけエまあ這入りんせエ、いゝ湯ぢや——』

と身を引いて入るすきを作つてくれる。鼻の先に小さい子供の脊中がある。

『おばちやんが洗つて上げやうか』ごし／＼洗ふてやる。向ふの方のも序だ。その側のも一緒に——

そして七八名の子供の脊中を片つ端しから洗つて行く。

『まあ先生さんに洗ふてもらうて』

とおふくろは光榮がる。何の私も水呑百姓の娘ぢやないか。却つて苦しい。

『先生さんこつちはすいてるでこつちへ這入んさい』

すつ裸のおかみさんが二つ位の女の子を横抱きにして外から聲をかける。

『男湯の方はよう空いてるぢやいふてるで、あつちへ行つてよく溫くもりんさい』

と傍のおかみさんもすゝめてくれる。

『さう！　もう男の人はゐらつしやらんのですか』

『いんや、まだ二三人ゐるだが、私も今這入るんぢやで、遠慮はいらんだよ——』

としきりに勸めてくれる。もう色氣もうせてすれつからしに

なつた私ではあるが、此好意には少なからず辟易した。
こゝは山梨縣東八代郡錦村二宮産業組合である。

▽昔と今

五年前鈴木文治氏の演説を聞きに行つたときは、みんなてんでに目立たぬ様に家を出て村はずれで待合せて一緒に行つたものです。『何處へ』と聞かれたら『一寸甲府に用事がありますので――』と。もし演説會にでも行くと知れたら、それこそ

『いゝいゝ女だてんに（女だてらに）』

と非難されたものです。『それが今はねエ――』と感慨深さうに満足さうに傍の同志を顧みつゝ常永村の中心婦人臼井たけじ氏は語る。

『婦人會の幹部會ですが、御苦勞様ですね』

といひ御馳走に御よばれしてゐても、

『婦人會があるから留守居をするので……』

と亭主も妻君を出す事を一つの義務とする様になつたのですからね……』と。

然しこゝ迄に男性を教育する迄の苦闘は決して並やさしいものではなかつたらう。立派な中心人物があれば村全部のレベルは上る。だが農村における中心人物とは、口先や筆先でなれるのではない。實行なんだ。はたらきなんだ。ごま化せない、おいそれとなれるものではない。

▽托兒所の明暮

常永村の隣大鎌田が私の目的地なのである。こゝの農民組合の主催の托兒所をやりたくてわざ／＼來たわけである。場所も設備も、おまけに經費もないからと、しきりに危ぶまれるが、金があり、設備が整つてゐるなら、何も私が出かける必要はないのだ。貧乏神と名附けられてゐる私は、貧乏がすきで私一家の貧乏では満足されず、かうして貧乏な仕事を買つて歩いてるわけである。伴のNさんへもそのことは呉々も覺悟してもらつたのであつた。

『しらみがうつゝてもいゝか。』

『子供のうんこが手についてもかまはぬか』

『おできのうみがしぼれるか』

と案に相異せず鼻をたれてない子供は一人もゐなかつた。
爪は一分以上。おまけに眞黒に垢をためてゐる。おできも多い。頭にはしらみが住んでゐる。だが驚かない。私の子供の頃もさうだつたんだから。

朝は起きぬけに――うつかり朝ねをすると起しに來る。小さい子供でも火をたくのは私より上手だ。

『茶わかしてやろか』

と竈の下をみてくれる。

『母ちやん先生は上手だなア』

と私の大根切る手振をみて賞めてくれる。

『早う食べろしよ（食べろ）』

とせき立てる。そゝくさと朝飯をかき込むと二人連だつて托兒所に當てたお荒神堂へ行く。若いやさしい坊や先生（Nさんを私が坊やといふので子供達もさう呼ぶ）の手は子供達で鈴なりである。藁や桑の木で焚火をしたり、廣い庭を掃き潔めたりしてゐると朝日が庭に暖くさして來る。それ迄ちゞかんでゐた子供達も元氣づく。

歌つたり、踊つたり、とんだり、ぶらんこをゆつたり、砂をいぢつたり、枠に上つたり、鼻をかんだり、しらみをとつたり話しをしたり、十時には、家々でかはり番んこに持つて來てくれるさつまいもを分けたり、三時にはせんべいやビスケツトを食べたりでたわいもなく、一日がくれる。電燈がついて人の顔が見えなくなると田圃の人達は引上げる。

『おゝ〇〇よ』と呼ぶ。

『先生と一緒に歸るよ……』

子供はまだ遊びあきない。でも、どの田にも人がゐなくなつた頃には、私共も歸る。

『烏と一緒に歸りませう』

と歌ひつゝ。

▽夜學

學校へ行く少年達がねだるのをよい事に、隔晩に夜學をした。學力の程度が一體に低い。道德律も極めて低く『叱られさへしなければどんな事をしてもいゝ』と心得てゐる。

初めは隨分保育の邪魔をされて困つたが、終ひには、私共の爲めに少年らしいあらゆる好意を示してくれた。一粒二粒學校の行き歸りに拾つた大事の銀杏や、むくの實を私共にくれた。ぶらんこの繩がゆるむと木に登つてなほしてくれた。ほんとに可愛い子供達だつた。處女やお母さんの爲めにも夜の研究會をして、いろ／＼な問題―日常の生活に即した衣食住から、婦人問題農村問題等――を研究し合つたり一緒に唱歌を覺えたりした。教育癖を持つ私は、どんな人間をも、どんな場合にでも教育したがる。少ないブランコを自分の子供丈に專有させやうといふ老婆も、一二週間たつたら

「かはり番こにのりなよ。一人丈とるぢやないよ」と云ひおいて歸るやうになつた。「先生さんこれを」と熟柿二つを懷にしのばせて持つて來て吳れたりする老人の純情にはいつも泣かされた。歸る時は悲しかつた。大きな親爺さんまで泣いてくれた。みんないゝ人達だつた。

平田のぶ氏は新婦人協會時代廣島縣の小學校に奉職して居られ婦選の請願に奔走された爲に縣下の大問題となり、遂に職を棄てるの止むなきに至り、後東上兒童の村小學校に勤務の傍ら小學女教員の指導者たりかつ新新銳の教育として文筆を執り、第一回汎太平洋婦人會議には全國小學校女敎　會代表に隋つて出席された氏の純眞熱烈なる教育愛は、氏の生活を貫いてほとばしり心ある人々の期待は氏の上にあつくかゝつてゐる。この一文は氏が、昨秋山梨縣中巨摩郡大鎌田村字篭中島の農民組合より招かれて農繁期托兒所を開設した經驗の斷片である。大に諸方面の御參考に値すると信じ乞ふてこれを戴せ得た。（編輯者）

四十一頁より
の全國協議會で「今後の運動は黨と共にする」との決議の結果退いたのであります。殘る四團體は、舊來も聯合運動をして來た中でもあり、いつでも協力出來るといふので、かくは一先づ使命を了へて解散と、かたをつけたのですが、各無產婦人團體は新年からこそ大いに明かな立場を示した日常鬪爭に入らうと舊冬各黨大會に前後して、會合、協議が行はれました。

萬女鑑

一月（睦月）

日曜　五日　十二日　十九日　廿六日

祝祭日　一日　四方拜　三日　元始祭　五日　新年宴會

×

新どしの標繩のかざりのすがしさよものの初めはおどりなくして

×

七草や雪を拂へばそれでなし　千代女

×

暮の異樣な暖氣も、寒に入れば冴えかへり、又感冒が流行りませう。『呼吸病日本』といはれる我國、お互に御用心。御用心。

×

そこで埋火のなつかしさ、紅友禪の炬燵布團の情緒もさる事ながら、もう少し主婦の頭を科學的に働かして、家族の保健に注意するとして、炭酸ガスはどんなに毒かといふと、即ち一酸化炭素の中毒量は〇、〇五から〇、一%です。

三%もあると、めまひ、呼吸困難、耳鳴、八%になれば顔が紅潮し、頭痛、呼吸困難甚しく三〇%で倒れます。

手當は空氣の流通のよい所に運び、人事不省の時は人工呼吸をして早く手當しないと、其儘死にます。

×

普通の木炭からはこの有毒ガスが四、四乃至一二、七%平均八、五%も出ますし、炭團は更に輪がかゝります。

一日中むき出しの炭火に接してゐる日本の家庭婦人が、この慢性中毒からのヒステリー神經衰弱は意外に多いのです。

又炬燵中に發散されるガス量中含有炭素の七割までを酸化炭素が占めてゐる事は、赤ちやんなどを決してこの中に寢かせぬ事を證明してゐます。

×

次は水。

昔から寒卅日間の水を二三口宛飲めば大抵の病氣に罹らぬといはれてゐますが、寒い間の水は冷くて細菌も少く、有効な鑛物質が極めて新鮮な狀態にありますから、飲んでおいしく、衛生にも叶つてゐます。

×

序に含嗽、これは少量づゝ度々やるが何より効果的。重曹水でも、硼酸水でもオキシフル一二滴落してやると、さつぱりしてゐて心地がよろしい。

×

嚴寒のお化粧もまづ肌の抵抗力を作るが第一の條件。

手を美しくするには、就寢前よく溫湯で洗ひ、コールドクリームを澤山塗つて、古手袋をはめて一晩ねることです。

×

しもやけの素人療法一つ。

尤も初期の簡單な内の事です。なるべく太くて水氣の多い大根を輪切にして火の上で燒き、少し黑焦になつた所でその黑い所を、しもやけの患部にヂッとあてゝ抑へて御覽なさい。夜ねる前やると、二三日も續ける内に美しくなほりますよ。

×

物價が餘程下つた上に、寒氣

は嚴しくなるので、メリヤスものはよく賣れます。純毛メリヤス製品には、ラクダ毛製と綿羊毛製とがあり、どちらも手ざはりの柔かなのが良品です。ラクダの上等品はまるで眞綿のやうにふつくりしてゐますが高價でもあります。

スウパといふ毛糸の製品は手ざはりが粗雑で、肉眼でみても毛がなく、光つてゐます。上等品ではないが、耐久力が强いので、子供用品、スヱターなどに用ひます。

これと綿糸と交織したのを俗に綿クルミといひ、値はずつと下ります。

メリヤスシャツ中、コットンと稱するのは、本コットンとコツトン式と二種あり、本コットンは縫目全部が織出のやうになつてゐて、ミシンの加工がありません。

ズボン下は、マチにテープの縫ひつけてあるのが上等です。

また裏糸に米綿と交織したのがあつて純毛との見分が困難ですが、裏糸の光澤なく、燒いてみると植物性の匂ひがします。

紡毛といふのは再製毛糸で、肉厚で糸も太いのですが弱いのです。

全て毛製品の上等は細糸です

×

正月の部屋を飾る温室物の切り花の水揚法。

一、水を度々とりかへ、餘り冷い水には少し湯を入れる。

二、切り口を時々切つて新にする。マガレットはほんの切り口だけ燒くとよい。

三、時々日光にあてる事、但し風は禁物。

×

お正月のきまりきつたお重詰料理を救ふために。一寸目先の變つたお料理を。

到來物のするめ、白水に一晩つけてもどしたら、味淋とお醤油と半々の割合でぴつたり浸し三四日おいて、食べる時は一寸角位に切り、燒いて温い所を賞味します。餅腹のお茶漬の友にもつてこいです。

足は一寸位に切つて大根と煮るとよくだしが出てこれまた頗る美味です。

×

天ぷら秘訣。

油は胡麻。カヤは輕いがおいしくはない。

火は强めの中火。弱いとカラりとせぬ。

衣はメリケン粉をよくふるひ鉢に入れ、卵を割り込み、水をしづかにさし、余り練らずにかきまぜる。

おつゆは、にだし一合五勺に醤油五勺、砂糖と味淋は好みによつてよき程入れる。

烏賊をはねさせぬ爲には、布巾で水氣を拭き取り、メリケン粉をまぶしてから衣をつける。

野菜で氣のきいたのは生椎茸。慈姑も丸のまゝ十文字に切目を入れてあげます。

×

ネギ、小松菜の見分方。

鍋料理になくてならぬ葱、下仁田の栃木のと特種の美味なものは別として日常八百屋の店頭で撰ぶ時、まづ東京では本場の千住ものは白根が多く、下總ものは靑味が多いと心得よ。

小松菜の本場も千住、葉先の縮れが細かいのに比して、場違ひの下總ものは葉先大きく、葉色が黒ずんで、縮れも少いのです。



海外だより

▼カナダ婦人の勝利

前號に記載したやうに、カナダの上院議員に婦人の被選擧權を認めるかどうかといふことは、非常な問題でした。カナダ大審院ではかねて、婦人が種々公職に就くことを否認してゐましたが、それは延いては上院議員被選擧資格の問題に絡んで來て、重大な婦選問題となり、終に英本國の樞密院に回付されてゐたのですが、樞密院では、審議の結果凡ゆる公職から婦人のみを除外するのは、正に野蠻時代の遺風であつて、時代は既に男女協同の働きを要求してゐるとてカナダの上院議員に婦人の選擧及び被選擧權を認むることになりました。かうなる迄には、英本國の上院では女流貴族が盛んにこのカナダの婦人運動に助勢したこと申すまでもありません。

▼ルーマニアの婦選

婦選運動では兎角に立ちおくれ勝ちの南歐の婦人達も次第に理智的な權利義務の自覺に目醒めてゆきます。

ルーマニアでは、この十數年來の婦選運動の結果、遂に昨秋十一月からルーマニアの婦人は新法の下に選擧權を獲得することになりました。尤も左の資格ある者のみに制限されてゐます。(一)中等學校師範、又は專門學校卒業者(二)官公吏(三)戰爭に依て寡婦となりたる者(四)特に功勞あつて叙勳されたる者(五)此法律制定の日慈善團體又は敎化團體の會長たりし者。

そして彼女等は又、國家及市町村の自治體の種々の行政部門に官公吏として職を得ることが出來るやうになりました。

▼芬蘭の女流代議士

北歐フキンランドの新議會に、二百名の議員中婦人代議士十六名なりといふ。

▼インドの新法律

印度に於て社會改善の急を要するもの〻一つに早婚の惡習慣があります。同國の婦選運動者等の間にはつとに法律で認むる婦人の結婚年齡を十四才とし、自己の意志表示を爲し得る年齡を十六才に引きあげようとする運動が盛んでありましたが九月二十三日終に決定結婚年齡女十四才男十八才とする法案が通過しました。これは婦女賣買や早婚の弊害を除く上に重要な法律であります。

▼ローレンス女史の活動

英國勞働黨の常務委員には數名の婦人が加はつてゐますが代議士スザン・ローレンス女史が今度婦人として初めて委員長に選ばれました。同女史は議會の書記であり、保健次官として活動してゐます。

▼ヤコブス女史逝く

昨夏六月ベルリンの國際第十一回婦選大會は、創立廿五年の記念大會で、キャット夫人を始め創立者が諸國から集つた中にオランダのアレッタ・ヤコブス女史がありました。醫者で、熱心な婦人運動家として內外に知られ五年前病を得て後も、常に、婦人及び子供の政治的經濟的權利と自由擁護の爲に、筆舌、實際運動並び行ふといふ活動家でしたが、遂に七十五才で永眠されました。夫人は一八五四年二月九日醫師の第八子として生れ、生來の几帳面で强い性格は幼時から表れて、女にして男子の中學校に入り、大學の門戶を叩いたのも醫者になつたのも同國で最初の人です。



サフラジエット (The Suffragette) (三)

シルビイア・パンカースト著
藤田たき抄譯

一九〇七年―一九二三年に至る

□

一九〇七年の春である。婦選を望む女等の思ひはまた議會へと向けられた。婦人社會政治同盟は二月十三日キヤクストンホールに、第一回婦人議會開催を發表した。思へば勇敢なアニー・ケニーが二ポンドの金を懷にして東上してから僅かに一年を經しのみである。またパンカースト夫人がキヤクストンホール演說會場の人數の少なからん事を恐れて東奔西走したのもほんの一年前の事である。然るに一年後のこの景氣はどうだ。入場劵は羽根が生えたかの如く飛んでなくなる。

帝國議會は二月十二日召集された。開院式の詔勅は相變らず婦選には言及して居らぬ。明くれば二月十三日！ 第一回婦人議會開催の日である。議長席には會長パンカースト夫人あり。議場は活氣と熱に張り裂けんばかりである「我等は下院が速かに婦選案を審議せん事を要求す。」の決議は滿場一致可決され「右決議を議會にある首相へ直に傳達すべし」の動議は歡呼を以つて迎へられた。「起てよ。女等！」この叫びに數百の婦人等は議會へなりとも、牢獄へなりともと勇敢に立ち上つた。

ミセス、デスパードは隊長に選ばれた。キヤクストンホールより練り出す女等は手に手に決議文の寫しをしつかりと握つてゐる。我々は隊伍を整へ路傍に群がる同情者の萬歳の聲におくられて議會へと進んだ。寒い日だ。然し拭へるが如き蒼空、金色に光る尖塔は春の近きを思はせる。而して私等の胸にも希望が燃える。凡ては氣持よく運んだ。然し我々が議

院の門に近づいた時、突然一團の警官は現れて大手を擴げて立ちはだかつた。而して怒號する警視の聲に警官等は縱橫無盡に我々の隊伍に割つて入り、狼籍の限りをつくした。然しこれ位におぢけつく女等ではない。我々はまた隊伍を整へて前進した。が、數歩を出でずして我々は一隊の騎馬巡査に完全に包圍された。而してわけもなくミセス・デスパードを初め先頭に進む數人は檢束されてしまつた



婦人社會政治同盟員のキングスウエーに
於ける機關紙の宣傳ぶり（五七頁參照）

而も我等はまだ目的地へ突進せんともがいた。而して騎馬巡査は亂暴にも我々婦人を右、左に蹴飛ばして隊伍の中に割つて入る。遂に我々の中六十五名は檢束され殘る者も絶え入らんばかりに疲れはてた。日は西に沈まんとしてゐる。

警官のこの狼籍は議員等をも顰蹙せしめた。當夜議場に於て代議士、ミスター・クロード、ヘーは「何故に政府は議會を要塞でゞもあるが如く騎馬武者を以つて守るのか。」と詰問し、はては、「內務大臣グラッドストーン氏は女を恐れてゐられるな。」と揶揄した。

ロンドンはこの亂鬪の噂でもち切つてゐる。さすがに新聞も今度こそはサフラジェットに同情を示してゐる。リベラルデーリー・クロニクルの漫畫はコサック兵が女帽子を分捕品として意氣揚々と引き上げる姿を描いてゐる。一ふりの武器をも持たぬかよはい女等に騎馬巡査を向けた當局の慌て方こそ笑止千萬である。

□

翌十四日五十七人の檢束者はウエストミンスター輕罪裁判所にひき出された。而してクリスタベル・パンカーストを初め五十三名のサフラジェットは名ばかりの取調べの後、珠數

つなぎにハロウエー牢獄へと護送された。

迫害に愈々熱は燃え、今や婦人社會政治同盟は全盛時代に到達した。しかしそれはまた同時に同盟にとつての一大危機でもあつた。同盟の組織、政策に對する意見の相異は漸く頭を擡げ始め、遂に、分裂、改造の時は來なければならなかつた。即ち一九〇七年九月、中央委員の數人は去つて新たに婦人自由聯盟を組織するに至つた。同時に婦人社會政治同盟内部の改革も斷行された。而して同盟會員たるものは次の宣誓に署名捺印を必要とする新規則も作られた。則ち「署名者は婦人社會政治同盟の目的並びに手段に賛成し、婦人參政權獲得の日まではいづれの政黨に屬する代議士、候補者をも應援せざる事を誓ふ。」かくして同盟會員は政黨との關係をたつて自由に活躍する事となつた。

□

一九〇七年十月、ローレンス夫妻の働きによつて婦人社會政治同盟月刊機關紙「婦人に參政權」の發刊を見た。我々會員は直に街頭に飛び出して、この機關紙を賣る事を志願した我々は廣告屋に早變りした。或者は脊に看板を吊るして街々を練り歩き、或者は馬に跨つてピカデリー街に廣告びらを撒いて歩いた。我々の此努力は素晴らしい結果を生んだ。一九〇八年五月にはこの月刊機關紙は一ペニーの週刊雜誌となり一九〇九年の始めに至つては毎週、三萬乃至五萬部の賣上を見るを常とした。

改革後の婦人社會政治同盟の活躍は前にもまして目ざましいものであつた。その一々の活動を掲げるは不可能故左にその一二をあげやう。

「鎖につながれたるサフラジエツト」この朝刊新聞の見出しは一大センセーションを捲き起した。一月十七日! それは新年を迎へて始めての定例閣議の日であつた。婦人社會政治同盟闘士、ドラモンド夫人は數名をひきつれて首相官邸へと押しかけた。案内を乞ふたが勿論面會は拒絶された。こゝに於いて一行中のミス、ニユーは玄關前で演説を始めた。彼女は勿論中に居る大臣等にも聞かせ、また物見高く集つて來た群集にも聞いて貰ひたかつたのだ。然し演説を始める前に彼女は自分の身體を官邸前の鐵柵にしつかりと鎖でつないでしまつたのだ。一には政治的自由を持たぬ女の姿のスインボルとして、また一には警官等にたやすく追ひ立てられる事を防がんが爲である。この例は直に同じく一行中のオリヴイヤ・スミスによつて眞似られた。官邸前に控えた警官等がこの二つ

の鎖を裁ち切らんと心を奪はれてゐる眞最中に一臺のタクシーが道の向ふ側に横づけにされた。またサフラジエットかと警官等が馳せて行くその隙に、後に殘つたドラモンド夫人は身を躍らせて官邸に飛びこんだ。而してあたりに人なきを幸にドラモンド夫人は會議室へと近づいた。然し間もなく閣員とおぼしき二、三の男に捕へられ、荒々しく玄關先へと投げ出され、直に檢束を受けて三週間の拘留に處せられた。

□

第三回婦人議會は一九〇八年二月十一日キヤクストンホールに開かれた。決議文は朗讀され、これを首相に傳達する動議は例の如く可決された。話かはつて議院前である。サフラジエツトの襲撃に應ぜんと逞しい警官等は手ぐすねひいて待つてゐる。午後四時頃の事である。制服制帽いかめしい警官等の前に二臺の屋臺車がのろ〳〵と近づいて來た。第一の車は靜かに議會前を通りすぎた。第二の車がその後につゞいた而して其車の後ろの棚にはねむたげな少年が横ずはりして議院前を逍遥する一人の男を物うげに見つめてゐる。がこの車が傍聽人入口に差しかかつた時件の男がハンカチーフを落した、バネ仕掛の如く彼の少年は飛下りて車の扉を押し開けたと同時に二十一名のサフラジエツトが車から轉げ落ち傍聽人入口へと突進した。可愛想に眞暗な車の中に長時間かくれてゐた女等は急に太陽の光にさらされて眼がくらみあらぬ方へ走つて行くのも數あつた。しかしその中の數名はまんまと議場内に入りこんだ。

婦人社會政治同盟創立者にして會長なるミセス、パンカーストがハロウエージエールへ送られたのも、またアニー、ケニーが再度入獄の憂目を見たのもこの頃の事である。

二月二十八日！　婦選案が第二讀會へと運ばれた日である而して待ちに待たれた政府の態度發表の時が來たのだ。政府側のスポークスマンはグラツドストーン氏である。今度こそはの期待も空しく「閣員中の反對云々」の逃げ口上に政府の反對は明白にされた。しかしグラツドストーン氏の演説中には氏と政府とが後に責任を問はるゝに至つた重大なる數言があつた。

「一八三〇年、六〇年、八〇年代の政治的革新運動の跡を顧みるに我々男子は部分的なる小運動に滿足して居らなかつたまた線香花火式の大會のみにて我事足れりと思ひもしなかつた。我々は幾百萬、幾千萬の大衆となつて動いたのだ。勿論我々は女性が大衆となつて動く事を期待する事は出來ない。

然し眞の力は大衆にのみ屬す。而してこの大衆の力によつてのみ政府は左右されるのである。」

しからば我々婦人が大衆運動をなしうる時政府は我々の希望に添ふといふのであるか。我々はグラッドストーン氏によつて投げられた挑戰を勇んで受ける用意が出來てゐる。

會長ミセス、パンカースト並びにアニー・ケニー、その他數名がハロウエー牢獄に投ぜられた時、婦人社會政治同盟會員は會計主任、ミセス、ペシック・ローレンスの提案に基いて運動費募集の爲の克己週間に入つた。獄中に呻吟する愛する姉妹等に勇氣づけられて會員は我も我もと街頭へ飛び出した或者は家から家へと喜捨を乞ひ歩き、或者は寄附金箱を抱えて往來に終日立ちつくした。また或者は花賣女となり、街路掃除婦にまでなりさがりまた辻から辻へ手風琴を擔いで歩いた。終日生活の爲働かねばならない貧しい會員はお茶のミルクと砂糖を節約し、バタなしのパンをかぢり、電車賃を寄附箱に投じた。この克己週間の報告は五月十九日大講堂アルバート　ホールに於いて發表せられるのだ。大會宣傳旗を吊した大凧は二週間議事堂の大空にあげられ、またハロウエージエールの囚人等を慰める爲に屋上にゆらめいた。

□

アルバートホール大會場の席は一つ殘らず豫約された。而して當日數百の群集は入場を斷はられて恨めしげに其の場を立ち去つた。大聽衆は殆んど女から成り立つてゐた。而して白服凛々しい二百の會場係は忙しげに飛び步いた。壇上は花を以つて美しく飾られ、婦人社會政治同盟の役員等でみたされてゐた。然しミセス、パンカーストやアニー・ケニーの刑期は明日まで待たねば消えない。議長席には空しく「ミセス、パンカーストの席」なる大札が置かれてゐる。

會場に集つた程の者で「若しも私が男なら」と望むものがあつたらうか。私等は寧ろ女に生れなかつたが爲今日の戰に參加出來ぬ男等を憐んだ。人々の胸に溢るゝ熱は事毎に喝采となり拍手となつて場内にみなぎつた。堂もわれんばかりの拍手に迎へられて立ち上つたクリスタベル・パンカーストは何を發表せんとするのか。奇しき運命の手は働いてミセスパンカーストを始め八人の囚人等は思ひがけなくも許されて出獄したのだ。ミセス、パンカーストは壇上の議長席に就かんと靜かに足を運んだ。

其刹那の光景こそは私等の永久に忘れる事の出來ぬものだ堂を埋むる幾千の女等は期せずして立ち上つた。手もちぎれよと打振らるゝハンカチーフの海！　かつて如何なる凱旋

將軍にも與へられなかつたやうな萬歲の聲は百雷の一時に落つるが如く堂を鳴り響かした。婦人社會政治同盟の創立者會長ミセス、パンカーストは靜かに立つてゐる。彼女の常さへ蒼白の顏は苦しい獄中生活を物語るが如く物凄きまでにあほざめて見られた。喝采の靜まるを待つて彼女は語り出した。

「私は婦選案が第二讀會にかけられた事を知つてゐる。何故ならばかう云ふ事は獄中にでもしみこんで來るから。しかし私は知つてゐる。この法案が英帝國の法律となるまでには我々女性は今日までの努力を十倍、百倍にせねばならぬ事を。」更に彼女は語をついだ。「少くとも私は。」而して我々はミセスパンカーストが獄中の可愛想な女等の事を考へてゐる事を知つた「少くとも私は苦しめる女等を目のあたりに見る時私等は最早我國の政治を男たちに任せて置けぬ事を知つた。私等は之までもう既に長く任せすぎて居たのだ。私等はこの世界を男の爲にも女の爲にもより住みよき處とする爲に働かねばならぬ。」彼女の言葉はとぎれた。次に此の大會に對する感謝と喜びを表はす彼女の聲は震へてゐた。「今や女を覺醒せしむる事は不可能だとの批評は美事に裏切られた。我々は男性が不可能と信じまた不可能なるを希つてゐた事を立派に成就したのだ。我々女性は目覺めたのだ。」

次にアニー・ケニーが立ち上つた。彼女は二年前、內閣の婦選に對する意向を問ふべくこのアルバート　ホールの內閣祝賀會にやつて來た時の思出を語つた。二年前の同夜！　彼女は怒號する男等に荒々しくつまみ出されたのだ「あの時私は千の男に對してたつた獨りぼつちのやうな氣がした。けれど私は氣にしなかつた。何故ならば私は私のその夜の苦しみは萎める花に降りそゝぐ夏の雨である事を知つてゐたから。私は信じてゐた。必ずや今日のある事を。」

而して今や會計主任ミセス、ペシツク・ローレンスはアニー・ケニーの言葉を裏づけるべく立ち上つた。ミセス、パンカーストの出席は望まれなかつた時彼女は議長席に獻金を積み上げる事を計畫した。然し幸福にも今は創立者なる議長の手に其獻金を置く事が出來るのだ。婦人社會政治同盟會員の克己週間の努力の結果は二千三百八十二磅十一志七片と發表された。而して今亦無名氏よりの「婦選獲得の日迄年每に一千磅」の寄附は聲高に讀みあげられ、ミセス、ローレンスは夫と共に同じく年一千磅をその場に誓つた。今こそは全會衆よりの寄附を募るのだミスター、ローレンスは壇上に計算器を持ち出した。忽に十二人の女は立ち上り各々百磅を投出した。昂奮は絕頂に達した。次から次へ、約束のカードは山の如く議長の手に盛られミセス　ローレンスは聲も朗かに讀み續けた。遂ひに七千磅は計上されて大會の幕は閉ぢられた。

（つゞく）

『西部戰線異狀なし』を見る

――演舞場新築地上演――

S・G・R

◇

どこで、いつ、誰に演ぜられた芝居か、何といふ芝居か、そんな事は、まあ後廻しにしておいて、しばらく私と一緒に見て下さい。それが私の願ひです。

◇

舞臺は兵隊で一ぱいです。ドイツの兵隊が手に手に食器と匙を持つて炊爨車を圍んで、踊り廻つてゐます。英國砲兵の長距離砲のおかげで、一中隊百五十人が半分になつたので百五十人分の食事を殘つた連中で平らげていいと、中隊長から御許しが出たからです。何て無邪氣な兵隊さん！

◇

病院です。ト腿を銃で貫かれたゝに切斷して了つた戰友を、志願兵パウルともう一人が見舞ひます、バラックの野戰病院。足を切つた事をしらないケムメリヒは、足の指が痛むといひます。彼の大事の長靴を寢臺につるさげてある、それをとても欲しがつてゐるミュッレルは、そつと穿いてみたりします。死がケムメリヒを蔽ひます、しきりに故郷の事を想ひつゝ、十九の志願兵は、幼な友達の勵ましの語の下に死んでゆきます。

◇

夜です。

前進！前進!! 貨物自動車にぎつしりつまつた兵隊さん――それから戰線、砲擊、毒ガス、まだお母さんの懷戀しい少年新兵の悲鳴、やがて靜まる戰場に傷いた軍馬の唸り聲……。

『一體馬に何の罪があるんだか知りてえもんだ。』

このデエリングのつぶやきは靜かに私達の胸にみなぎります

◇

晴れた春の日の塹壕生活、私達の可愛いゝ兵隊さんは皆裸で虱退治です。野戰病院から脊負つて來たのは、頭の上に赤い十字がついてゐるなんて騷ぎ。虱を取り乍らの話題は

『もし今急に平和になつたらどうするね。』

まづ兵隊を追ひ出される、それから飲めるだけ酒をのむ、――又、まづ手近の停車場に馳けつけ、汽車にのつておつ母の處に歸る――又、さうすりや女だなもう一度兵隊をやるといふのは鑛夫上りのエストフウス、泥炭堀りは兵隊よりひどい仕事だといふのです。

『だが何ていつたつて家の方が好いよ。』

『とりいれに間にあふやうに歸りていなあ。』

と、百姓のテデリング。

だがこの愛すべき兵隊たちから少し離れた一隅で私達は學校出の連中の話を聞かねばならない。そこには世界と生活を愛する青年達が、つぶやく。

『僕等はもう戰爭のお蔭で何をやらう。としても駄目にされちやつたんだね。』

お母さん、世の中のお母さんあなたの息子だつてこの場合、かういふ他はないでせう。

◇

塹壕の夜。死骸を食ふ大きな禿げ鼠。猫も犬も食ひころす鼠の群。塹壕戰！ 新兵を襲ふ、何でも掩壕に入ると窒息する樣で、砲彈の中にでも飛び出さうとする塹壕病の發作。

◇

次の幕で初めて私達はうるほひある女の姿を見ます。我等のボウルには休暇を貰つて我家に歸ります。だがそこに待つてゐるものは――戰爭の爲めの食糧の窮迫、病める母を抱いて一人の姉は生活の爲に少佐の一人に許してゐるのです。

勿論母と姉はパウルの爲にいつ歸つてもいゝやうに、彼の大好きなこけ桃のジャムをこさへてゐてはくれたけれど……。

◇

それに人々は何と戰爭といふものゝ本當を知らない事か。戰線から離れて來た所では戰爭はそれ〳〵の人に勝手に都合よく

美化され、英雄化され、壯嚴化されてゐる。だが、違ふ、違ふ。戰爭とはそんなもんじやあない……こゝで私達は、我がパウルと共にむづかしい面で沈默を守る他はありません。

◇

次に私達はパウルとケムメリヒの母親を訪ふのです。

『あの子が死んでゐるのに、なぜあなたは生てゐるのです。』これが母親の第一の言葉です。

『あの子にあなたお遇ひになりましたか。まだ生きてゐる內に逢つて下さいましたか。息を引き取りました時は、どんな風に……』

一發彈丸を食つてすぐその場に戰死したとパウルは言下に答へます。

『あなたは噓ばかり仰有る、私の方がよく存じてゐます。私はあの子が苦しみ乍ら死んだ事をちやんと感じて知つてをります。私はあの子の聲を聞きました。夜になるとあの子の苦しみを感じました。どうぞ本當の事を仰有つて下さいまし。私は本當の事を知りたいのです。』

私たちの頭に、足を切つて泣いてゐたケムメリヒの青い弱々しい面が浮びます。母親の心は子供について戰場に行つてゐる何が水兵の母なんて、本當の母の心でせう。日本の母の心は、十二一重をきてゐる、あゝ裸な赤裸な母親の心、それが日本にも欲しい。

◇

ボウルの戰線に歸る前夜、街であつた女はいひました『一寸兵隊さん、遊んでゆかない?』それから、『えゝ、私の父も兄も戰場でやられたのよ。』

戰爭と女！　私たちは考へなくてはならない。

◇

さて戰場に歸つてゆくパウルに、母のいふ言。

『佛蘭西へ行つたら、女にはよう氣をお付けよ。戰へ行つてもよう氣をおつけよ。』

ボウルの胸の內。

おつ母さん、おつ母さん、なぜ僕はあなたの膝に頭を載せて泣く事が出來ないんでせう。なぜ僕はいつも氣のつよい、我慢强い男でなければならないんでせう。僕はもう一度泣きたい、泣いて機嫌を取つて貰ひたい、おつ母さん、おつ母さん、なぜ僕はあなたをこの腕に抱きかゝへて一緒に死んじやいけないんでせう。なぜからうも僕達は哀れな犬……さてパウルは姉に囁く。

『僕は何故休暇なんか貰つて來たかと思ふ。姉さん、だが僕はあなたを告めない。さうなる他なかつたあなたたなよりいとしく思ふ。』

◇

それから、戰爭、又戰爭、パウルは、服の色がちがふ以外に何の變りもない同じ人間の佛兵を一人刺し殺します。

『戰爭とは何だ！』

◇

それから傷ついたパウルが入れられた野戰病院で、私達は又鐵砲傷を癒しに來たのではなく扁平足の研究材料を集めに來てゐる醫者や、讃美歌ばかり唱つてゐる看護尼や、見込がなくなれば息のある內に寢臺を明ける爲に、患者を死亡室に運ぶ看護卒だの、義手や義足の人間でも『出征可能』の札をつけて戰線に送りたがる上官たちを澤山に見せつけられます。

片腕を失つたパウルも亦その一人となります。そして、一九一八年十月のある日、彼も亦我等の前にその死體を横へます。『帝國主義戰爭絕對反對』類次は嵐のやうです。『全ての戰爭絕對反對』私たちも亦叫びます。

◇

その日全戰線に涉つては極めて穩かで、靜で司令部報告は『西部戰爭異狀なし』の文句で盡きてゐた――と、『西部戰線異狀なし』の著者ルマルクはその著を結んでゐます。十九才の志願兵として學校から戰場に出た著者の體驗記錄を、訴へでもなく、告白でもなく報告したものがこの辯です。

この書は歐米で數十萬部を賣りつくし日本でも已に八十版を越えたでせう。上演も僅かの間に屢々されました。米國の映畫もやがて入るでせう。

とにかく軍縮會議や戰爭防止會議に日本の女も出かける程となりましたが、一九三〇年の日本の女は、はつきりとあらゆる戰爭絕對反對を叫べなくてはならない筈です。



新生への道（連作小說）

高群逸枝

第三回

三重子の夫の良作が歸つてきたのは、夕方の五時少し過ぎだつた。その氣勢をきくと、藤子は客室で固くなつた。

『あれは、あなたに、極力お歸りになることをすゝめると云つてゐました』

と先刻、三重子が彼女に云つたことが、いまさらのやうに浮んできた。彼女は口髭のある若い紳士を描いた。その紳士が、自分に對して、眞向きに坐つて、ジユン／＼と說諭するであらう場面を、たまらないと思つた。彼女は島を出る時

『爲て見ないで分るもんですか』

と強い決心を語つて、叔母や母に微笑んで見せたことや、けさ棧橋を渡る時、地を打つて傳はる都會の動力の中に、いかに朗らかな生きた人生を感じたかを思ひ出して見た。が、それらのことも、現實の前には、何と影うすいものであらう彼女は自ら勵まさうとしながらも、どうにもならない心の弱さを感じた。

足音がして、さつと唐紙が引き開けられた。あはてた彼女の目に、背の低い、顏の白い、小柄な男が映つた。彼は大きな鞄を引き摺るやうに提げて、客室に入

つてきた。藤子を見ると
『やあ、いらつしやい』
と頓狂な聲でいつて、鞄をドカッと床の間に置くと、火鉢のそばに坐つて、眞向きになつたが、その顏には鬚などはなく、口の横に二本、大らかな皺があつた。その樣子では、三十を四つ五つ出てゐるやうに思はれた。藤子は心もち驚ろいて、頭を下げながら
『藤と申します。始めまして』
『いやあ、いゝんですよ。われ／＼の社會にあつては、そんな面倒な禮儀といふか、習慣といふか、とにかくさういつたことは、願ひ下げにしたいですね。アッハッハ』
電燈が、明るい色の笠を、ボーッと浮かしてゐる。良作はポケットから、縞のハンカチを出してプンと鼻をかんで、
『いやもう無人數でしてな。おかまひも……。ところで我々はどういふ話をやればいゝつてんです。僕は今しがた友だちのやつてゐる劇場（一寸奥へむいて首をすくめて）をのぞいてきたが、現代のそれは、實にテムポが早いですね僕は思ひますが、それは何ゆゑかと。曰く、それはですな、太陽の黑點とか、その他、自然科學的の原因によるのではないか。かく僕がいふと、友人がですね、いやそれは違ふつてわけで……ところで飯はおやりでしたか。ところで何ですか。これから何か仕事でも探すといふ……』
藤子は呆つ氣にとられて、もぢ／＼してゐたが
『えゝ、さうなんでございます。何かせいいつぱい働いて見たい、ですから暫らく……』
『いやア、わかりました。大いに働きなさい。怒るな働けつてね。なあに仕事ぐらい、探せばいくらでもありますさア僕は丸ビルの（威張つて）えゝと竹内商事にゐますが、何なら當つて見て上げませう。どうです?』

藤子はいよ〳〵驚ろいた。これでは何もかも違ふ！　こんな筈ではなかつた！　彼女は何だかひどく調子外れな氣がして、先刻あんなにも恐れてゐた現實なるものが、まるで道化た、何かから、擽つたい、云ひあらはしがたい、變なものに思はれてきた。

戸外はすつかり暗くなつた模樣で、家々の屋根を越えて、さまで遠くない夜の街の雜音が傳はつてきた。臺所では、さつきから、コト〳〵やつてゐる音が、續いてゐたが

『まあ』

と突拍子もなく、近いあたりで、華やかな三重子の聲がした。と思ふと、すぐに、お化粧を直したらしい、美しい顏を出して、

『まあ、あなた、お鞄こゝいもつてきて、何て不作法な。藤子さん、宅つたらいつでもかうですのよ。ほんとに仕樣がない』

と、大げさな身振りで、たしなめる風をしたが、少しもそのことで夫を批難してゐる樣子はなく、につと夫を見上げて笑つたりした。

食事が濟んでからは、べつに話すこともなく、「疲れてゐるだらう」といふのですぐに寢せられてしまつた。さうした中にも、事件がありうべからざる展開を見せつゝあることを、藤子は知つた。寢間に導いた時、三重子は彼女にいつた。

『ねえ、よかつたわねえ。宅がお仕事のこと當つて上げますつて。あの人つたら、かう云へばおかしいんだけど、可なり偉いの。これと當りをつけたら、きつとやるの。だから安心してゝいゝわ。ぢやあごゆつくり』

茶の間は、まだなか〳〵賑やかである。良作の頓狂な聲や、甘へるやうな三重子の笑ひ聲、それに女中もまじつて

『昨夜の、かけませうか』

などゝいつてゐる。蓄音機でも始まるのらしい。
藤子は頭痛のじてくるのを、耐へるやうにしながら、
『でもよかつた』
と思はずにはゐられなかつた。そして
『爲て見なくては分るものですか』
といふ彼女の哲學が、ふたゝび新しい形で、生々と甦つてくるのだつた。さうだ、何ごとも當つて見ることだ。空想が、單なる空想である間は、ほんの少しの「現實」にぶつかつてさへも、ぢきに縮かんでしまふ。けれど、一ど「現實」を潜つてからの空想は、決してそんなに脆くこはれたりはしない。
讀者諸君！　われ〳〵の女主人公は、今から考へてゐるのです。そしてこのことは、われ〳〵にとつても、ぜんぜん値打のない考へであるとはいはれません。
彼女はけふ一日で澤山のことを知つた。すべての精神的の——杞憂とか、恐怖とか、逡巡とか、かういつたやうなことのいかに無駄であるかを知つた。
彼女は、今後たゞ「求めつゞけ」て行くべきであると思つた。仕事を、食を、その他の一切を。その間に、絶望とか、後悔とか、遲疑とかいつたやうなことをするのは、精神の「浪費」にしか過ぎない。彼女は何だか非常に安らかな氣もちになつた。と、船からの疲れが出て、こゝろよく眠りかけた。
『あらつ、やだわア。そんなことして……』
突然、隣室で甘つたれた聲がした。
『ウヘ、、、、こゝまでお出で』
夫婦が何か取りつこでもしてゐるらしい。

藤子はこれで目がさめてしまつた。藤子は背の低い頓狂な男と結婚してゐながら、「結婚つていゝものね」だの、「あの人可なり偉いの」だのと、ぬけ〳〵と云つてゐる三重子の心が、何だか不思議なやうに思はれた。そこには觸れることのできない「何か」があるのではないか。で、たとへば藤子達が「背の低い頓狂な男」といちがいにきめてしまふことさへ、それは可なり淺い見方ではあるまいか。

彼女は結婚に對して、今までもつてゐた考へが、その考への中で壁土のやうにぼろ〳〵崩れかけてゐるやうに思つた。

『たとへば』

と彼女は思つた。

『わたしはあの人を（弘を）ほんとうに嫌つてゐるのであらうか』

彼女は爪先から、腹から胸へ、何だか非常に熱い湯の波でも通つてゐるやうな氣がした。

『男といふものは、どうやら變に魅力のある、興味のあるものらしい！』

ふいと、そんなことが思はれてくる。

隣室では、暫らくの間、くつくつと笑つたりしてゐたが、まもなく寢ついたと見える。かくて、時は音もなく過ぎて行つたが、彼女はどうしたのか、目が冴えて眠れない。

と、何處か、裏口の邊で、ギーッといやな音がする。

次回執筆者…………平林たい子氏

謹賀新年

編輯局一同

□皆さまお目出度うございます。これで愈々第三號、正月號として八頁を増したものゝ、まだ春着の行丈揃はず何てのびる子なのか……といふ心持、それにしても蹴躍も連作小説も佳境に入りました。解説記事も段々充實して來ます。巻頭も今年は諸氏を煩はし得る筈。入り切らずに次號に廻したものも尠くないのです。更に愛讀者の方々の激勵は、乏しい中を力戰奮闘の私共にとつて百萬の味方、どうか今年も精一杯しつかり働いて、御期待に添ひたいと、編輯局一同一心に願つて居ります。（しげり）

□中々いゝぢやありませんか、さう言つて貰へる事はうれしい。けれど私達が不滿だらけでゐるこの雑誌について、誰もその點に氣がついて指摘してくれる人のない事はずゐ分不滿に思ひます。

　多かれ少かれ雑誌に對する御批評を、御意見を、どうぞうんと活潑に、無遠慮におきかせ下さい。それが一九三〇年最初のお願ひです。（勝子）

□唐様で書く三代目を逆に、愈々確かになつた婦選の足どりをお祝ひ下さい。（鐵）

本誌定價

▽一部　金二十錢（郵税五厘）
▽半年分　金一圓二十錢（税共）
▽一年分　金二圓四十錢（税共）

誌代は前金で拂込は振替が御便利です、切手代用は一割増に願ひます

廣告料

廣告御希望の方は御一報次第、料金その他御通知いたします。

昭和四年十二月二十九日印刷納本
昭和五年一月一日發行

編輯、印刷兼發行人　市川房枝

東京市芝區南佐久間町一ノ一
印刷所　研文社印刷所

東京市麹町區麹町四ノ五
發行所　婦選獲得同盟
電話九段一七一九番
振替東京七〇三八三番


懷爐界の革命兒
ミカサ懷爐
懷爐灰
西松東京帝國大學教授後藤醫學博士等諸先生の御後援と御指導を得て一段と進歩向上し殆んど完全無缺となりました
特長
優美・輕便 無煙・無臭 保温約十時間
價格低廉 衛生的優良品
（藥店・百貨店・小間物雜貨店にあり）
ミカサ懷爐灰
SA KAIROK
懷爐灰
株式會社 鳥居商店

Vol. IV, No. 1 "FUSEN" Jan. 1930
Published monthly by The Woman's Suffrage League of Japan.

昭和四年十二月廿八日 第三種郵便物認可
昭和五年一月一日發行

發行所 東京 麹町、四ノ五 婦選獲得同盟